Panasonic

取扱説明書
温水洗浄組込型便器

全自動おそうじトイレ

アラウーノS

A·La·Uno S

〈本体〉

タイプ		品　番
床排水タイプ	戸建3階以下	CH1101□□(7)
	高層階	CH1101H□□
壁排水タイプ		CH1101P□□

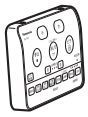
〈手洗器〉

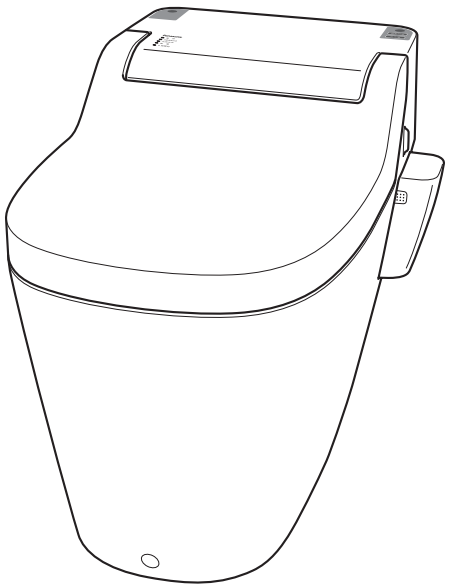
タイプ	コーナータイプ		カウンタータイプ	
水栓	手動単水栓	自動単水栓	手動単水栓	自動単水栓
本体	CH110TS(Z)K	CH110TJ(Z)K(7)	CH110TFSK	CH110TFJK(7)
カウンター	———		CH110TF(Z)W(L/R)K	

□□ ：色品番　　(7)　：寒冷地仕様
(Z)　：前出し仕様　　(L/R) L：左設置　R：右設置

このたびは、アラウーノSをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- ●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ●ご使用前に「安全上のご注意」(4〜5ページ)を必ずお読みください。
- ●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。





保証書別添付

もくじ

はじめに
いつもきれいに、快適に …… 2
安全上のご注意 …… 4
各部のなまえ …… 6
知っておいていただきたいこと …… 8
ご使用前の準備 …… 10

使いかた
便器洗浄 …… 12
おしり洗浄·ビデ洗浄 …… 14
便座・脱臭・リモコン …… 15
節電 …… 16
洗剤の補充 …… 18

お手入れ
お手入れカレンダー …… 19
汚れの種類・おすすめ洗剤と道具・温水洗浄便座部・手洗器 …… 20
便座・便ふた …… 21
便器 …… 22
洗剤タンク …… 24
洗浄ノズル・脱臭フィルター …… 26
脱臭吸込口・漏電しゃ断器(プラグ付) …… 27

こんなときは
定期点検 …… 27
トラブルの予防と対処方法 …… 28
凍結防止 …… 28
ストレーナ(ごみ取りフィルター)の掃除 …… 29
手洗器の掃除(手洗器付タイプの場合) …… 30
長期間使用しない場合 …… 31
停電時または断水時の便器洗浄のしかた …… 32
便器が詰まった場合 …… 33
便器洗浄中に停電が起こった場合 …… 34
万一のトラブルなどにより封水が確保できない場合 …… 34
故障かな？ …… 35
定格・仕様 …… 38
お知らせ …… 39
保証とアフターサービス …… 裏表紙

商品に関する情報は、下記ホームページにて
詳しくご紹介しています。
住まいの設備と建材のサイト
http://sumai.panasonic.jp/

いつもきれいに、快適に

step 1

便座に座る

※便ふたは手で開けてください。
便座と便ふたは別々に開閉してください。
同時に開閉すると、表面に傷がつく原因になります。

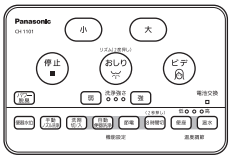
着座スイッチで着座を検知します。
- 着座すると洗浄や脱臭が使えるようになります。

脱臭がスタートします。

→ 便座温度の調節
(15ページ)
→ パワー脱臭をする
(15ページ)

step 2

洗浄する



おしり を押すと、おしり洗浄を行います。

ビデ を押すと、ビデ洗浄を行います。

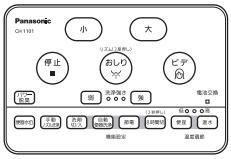
停止 を押すと、おしり洗浄、ビデ洗浄が停止します。

※洗浄の前後に、ノズル滝洗浄を行います。

→ 洗浄する
(14ページ)
→ 洗浄強さの調節
(14ページ)
→ ノズル滝洗浄
(14ページ)
→ 温水温度の調節
(14ページ)

step 3

便器洗浄する



立ちあがると、ノズル滝洗浄を行い、パワー脱臭を約1分間行います。

大 を押すと便器大洗浄を行います。

小 を押すと便器小洗浄を行います。

※小洗浄で流すことのできるトイレットペーパーの長さは、約3 m(シングル・ダブル共)までです。トイレットペーパーが流れにくい場合は、大洗浄をお使いください。

→ 便器を洗浄する
(13ページ)
→ 自動便器洗浄の設定
(13ページ)

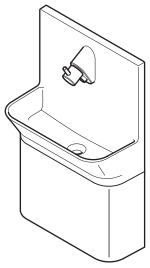
はじめましょう、アラウーノS

step 4

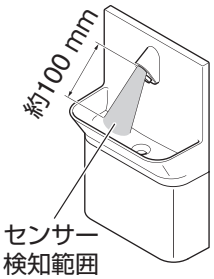
手を洗う

（手洗器付タイプの場合）

手動単水栓



自動単水栓



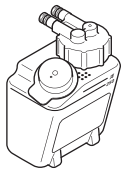
その他の機能

- → **節電する（節電・8時間切）** （16ページ）
- → **便器のお手入れ（便器水位）** （22、23ページ）
- → **洗浄ノズルのお手入れ（手動ノズル洗浄）** （26ページ）

よくあるご質問

●どうやって洗浄するの?

洗剤タンクに入った洗剤の泡を使って自動で洗います。
※泡がでないのは洗剤切れです。



洗剤タンク

12ページ

●使える洗剤は?

洗剤タンク補充は台所用中性洗剤

18ページ

お手入れはトイレ用中性洗剤

20ページ

●泡がでない!どうしたらいいの？

■洗剤が洗剤タンクに入っていますか？

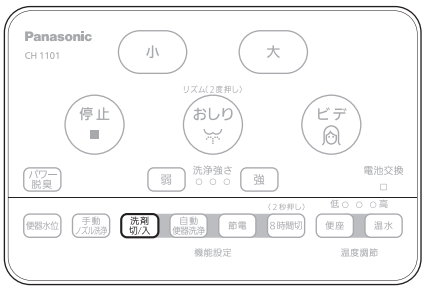
18ページ

→洗剤を入れてください。

■洗剤開始スイッチは「入」になっていますか？

13ページ

→洗剤開始スイッチを「入」にしてください。
（スイッチが「入」なら本体表示部が点灯）



●洗剤補充方法は?

洗剤タンクに台所用中性洗剤を入れてください。

18ページ

●お手入れについておしえて!

Q. 便器のお手入れ方法は？ 22ページ

Q. 黒い汚れ、ピンクの汚れはどうするの？ 20ページ

Q. 便器のため水を下げてお手入れする方法は？
（水位を下げられるのはお手入れの時のみです） 23ページ

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

⃠ 禁止

■ **絶対に分解したり、修理・改造はしない**
修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

■ **浴室内など、湿気の多い場所、水洗い掃除ができる床には設置しない**

■ **本体や漏電しゃ断器（プラグ付）に汚水や水をかけない**

■ **ぬれた手で漏電しゃ断器（プラグ付）に触れない**

■ **傷んだ漏電しゃ断器（プラグ付）、ゆるんだコンセントは使用しない**
また電源コードを破損するようなことはしない

■ **本体が破損したり、故障したまま使用しない**
感電・火災・けがの原因になります。

■ **本体、便座、便ふたや手洗器に乗ったり、ぶらさがったり強い衝撃を加えない**
商品が変形や破損し、けがをするおそれがあります。

■ **電池は誤った使い方をしない**

・金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち込んだり保管しない。
・新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使用しない。
・加熱、分解したり、水、火の中に入れたりしない。
・被ふくのはがれた電池は使わない。

取り扱いを誤ると、電池の液もれにより火災や周囲汚損の原因となります。
万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。

❗ 必ず守る

■ **電池は正しく取り扱う**

・⊕ ⊖は正しく入れる。
・長期間使用しないときは取り出しておく。
・必ず指定の電池を使用する。
・乳幼児の手の届かないところにおく。
万一飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談する。
・使い切った電池はすぐに器具から取り出す。
・電池を破棄する場合、テープなどで絶縁する。
・液が体についたときは、水でよく洗い流す。
・液が目に入ったときは失明のおそれがあります。
目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、医師に相談する。

取り扱いを誤ると、電池の液もれにより火災や周囲汚損の原因となります。
万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。

❗ 必ず守る

■ **定格15 A以上で交流100 Vのコンセントを単独で使う**
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

■ **漏電しゃ断器（プラグ付）にほこりが付着したら必ず取りのぞく**
ほこりが付着したまま使用すると火災の原因になります。

■ **漏電しゃ断器（プラグ付）は確実に根元まで差し込む**
差し込みが不完全な場合、感電や火災の原因になります。

■ **漏電しゃ断器（プラグ付）をコンセントから抜く場合は、その本体両側を持つ**
コードを引っ張ると破損し、感電・ショート・発火の原因になります。

■ **アース工事を確認する**
アース工事がされていないと漏電のときに感電するおそれがあります。
アース工事をお買い上げの販売店にご依頼ください。

■ **必ず上水道に接続する**
上水道以外に接続すると、ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。

■ **低温やけどに注意する**
便座に皮膚の同じ場所が長時間触れていると、低温やけどの原因になります。

■ **暖房便座を長時間使用する場合はやけどに注意する**

次のような方が、暖房便座をご使用になるときには、周囲の方が便座温度の設定を「低め」にしてあげてください。
（15ページ参照）
お子様、お年寄り、ご病人、自分で温度調節のできない方、皮膚感覚の弱い方、眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方、深酒・疲労の激しい方

■ **化学療法を受けている方、免疫不全症の方など、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けておられる方は、ご使用に際し医師に相談する**
身体への著しい障害をまねくおそれがあります。

⚠注意

禁止

■ **便器、便座、便ふたや手洗器にかたいものを落とさない**
変形・破損によるけがの原因となります。

■ **給水ホースや排水管などに力を加えない、折り曲げない**

■ **給水ホースやナットに洗剤、薬品、芳香剤などをかけない**

■ **ホースが傷ついたり、ふくれたりしたまま使用しない**

■ **便器に熱湯（約80 ℃以上）をかけない**

■ **水面から便器内部にホースやかたいものなどを挿入しない**
水漏れの原因になります。

■ **酸・アルカリ性の洗剤、重曹、アルコール（エタノール、イソプロピルアルコールなど）を含む洗剤、消臭剤、トイレ掃除用ペーパー※、滴下するタイプの消臭液や、シンナー・ベンジン・アルコール・その他薬品などを使用しない**
※花王製トイレクイックルは、ご使用いただけます。（弊社試験により確認済み）

■ **アルコールを含む消臭剤を置かない**
商品が割れてけがをしたり、製品内部が露出し、感電の原因になります。

■ **ノズルの出入り口と温風吹出口と脱臭吸込口付近に洗剤をかけない**

■ **オレンジオイルを含む洗剤・柑橘系の香りを有する洗剤を使用しない**

■ **重曹・シンナー・ベンジン・アルコール・その他薬品などを使用しない**

■ **掃除の際に、電源コードを屈曲させない**
コード内の芯線が断線し、異常発熱や発煙の危険があります。

■ **本体や手洗器ががたついたまま使用しない**
水漏れや破損、転倒によるけがの原因になります。

■ **本体や便ふた、手洗器の上に重い物や割れ物を置かない**
落下破損によるけがや水漏れの原因になります。

■ **便ふたに、もたれかからない**
破損によるけがの原因になります。

■ **便器に汚物・トイレットペーパー以外のもの（ナプキンなど）は流さない**
一度に大量のトイレットペーパーを流さない
手洗器には手洗い水以外は流さない
便器・手洗器を詰まらせる原因になります。

■ **万一便器・手洗器が詰まった場合は続けて洗浄操作しない**
便器・手洗器から汚水・洗浄水があふれる原因になります。

■ **本体に暖房器具などを近づけすぎない**
商品が破損してけがをしたり、火災の原因になります。

■ **便器や手洗器にタバコを捨てない**
便器が破損してけがをしたり、火災の原因になります。

禁止

■ **開口部に指や物を入れない**
けが、感電、やけどや火災の原因になります。

■ **便器が詰まった場合は、続けて洗浄操作しない**
便器から汚水があふれる原因となります。

■ **凍結防止ヒーターを使用する場合は8時間切スイッチは使用しない（寒冷地仕様のみ）**
便ふた部の結露で床をぬらす原因となります。

■ **凍結防止ヒーターを使用する場合は節電スイッチは使用しない（寒冷地仕様のみ）**
便ふた部の結露で床をぬらす原因となります。

■ **凍結防止ヒーターを使用する場合は8時間切スイッチは使用しない**
便ふた部の結露で床をぬらす原因となります。

■ **暖房器具を便器に近づけない**
便器の変形・破損による、けがや水漏れの原因となります。
特にハロゲンヒータータイプの暖房器具は、便器から1 m以上離してご使用ください。

■ **凍結のおそれのある場合は、8時間切スイッチは使用しない**
温水タンクなどが破損し、水漏れの原因となります。

必ず守る

■ **凍結予防のために水抜きをし、凍結防止ヒーターのプラグをコンセントに差し込む（寒冷地仕様のみ、28ページ参照）**
凍結すると配管、本体内部が破損して水漏れの原因になります。

■ **寒冷地以外の地域でも、冬場周囲温度が０ ℃以下になる場合は、施工業者に依頼して屋外配管・露出配管に凍結防止ヒーターを取り付けるなどの適切な凍結予防対策を実施する**
凍結すると機器や配管が破損したり水漏れする原因になります。

■ **漏電しゃ断器（プラグ付）の作動を確認する（27ページ参照）**
故障のまま使用すると、漏電のときに感電するおそれがあります。

■ **便座、便ふた開閉時、指などをはさまないように注意する**
はさまれるとけがをする場合があります。

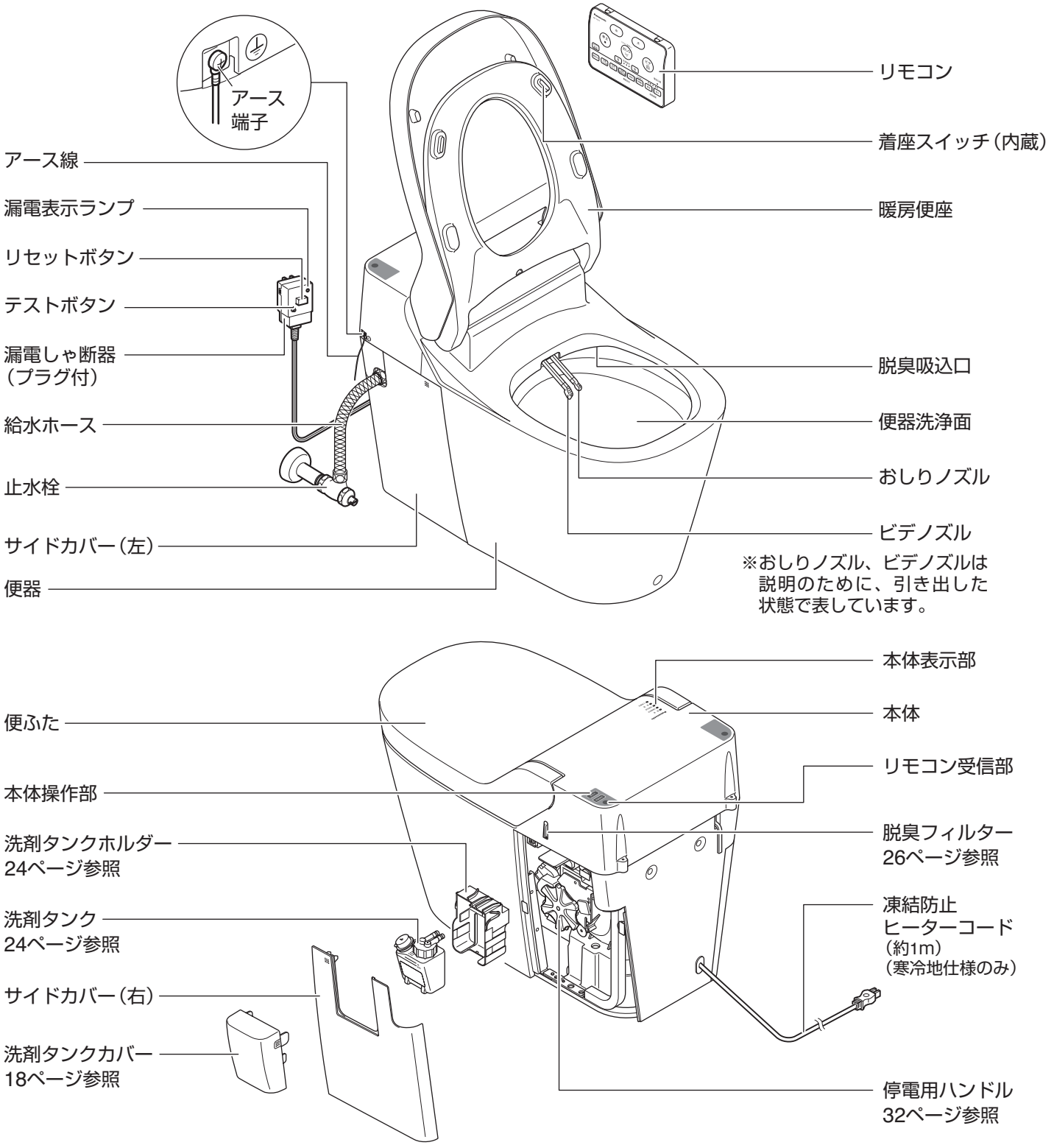
■ **長期間使用しないときは、本体の水を抜き漏電しゃ断器（プラグ付）のプラグを抜く（31ページ参照）**
そのまま放置すると水の腐敗による皮膚の炎症、感電の原因になります。

■ **ストレーナふたおよび温水タンク排水栓はしっかりと締めつける**
しっかりと締めつけないと水漏れの原因となります。

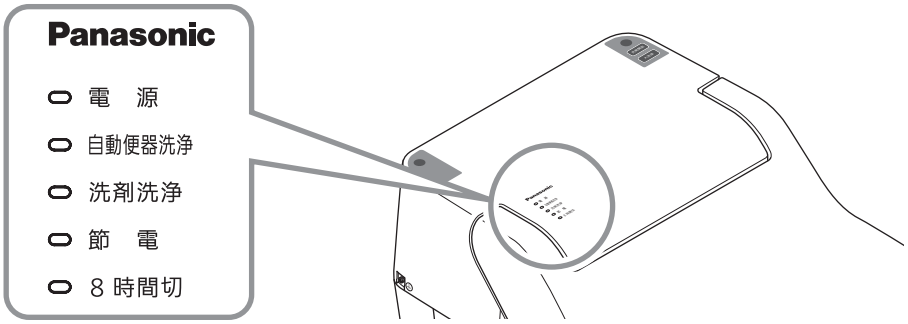
■ **ストレーナふたはしっかりと締めつける**
締めつけないと水漏れの原因となります。

■ **凍結するおそれのある場合は、必ず水抜きする**
凍結すると配管、本体内部が破損して水漏れの原因になります。

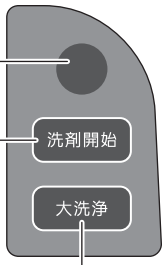
各部のなまえ



本体表示部



本体操作部



リモコン受信部

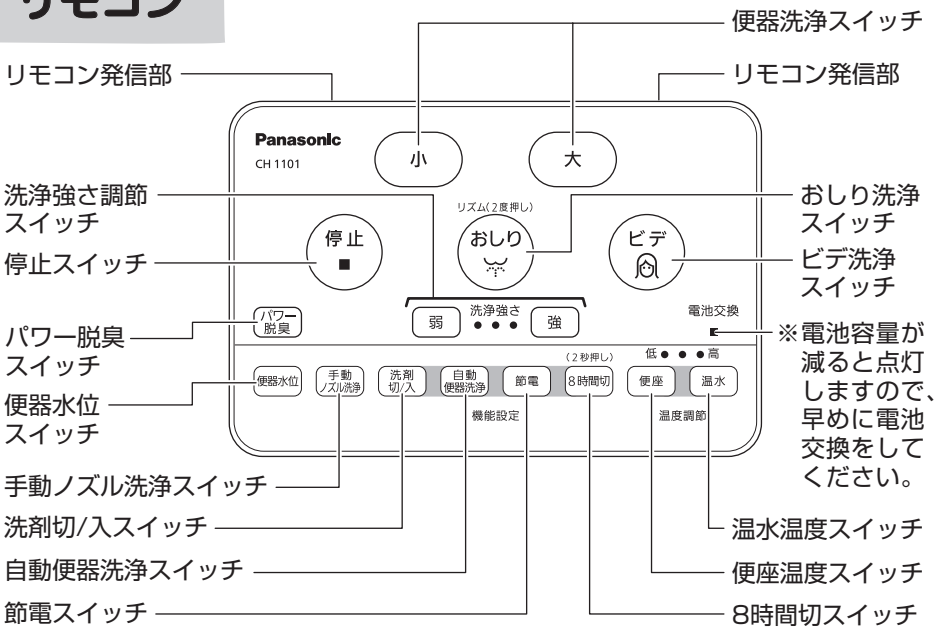
洗剤開始スイッチ

洗剤タンクに洗剤を補充する時に操作します。（18ページ）

便器洗浄スイッチ

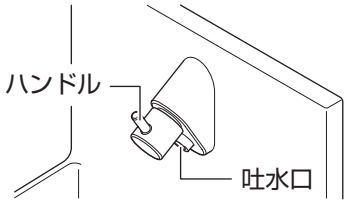
便器大洗浄を行います。（12ページ）

リモコン

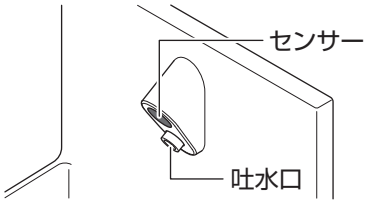


手洗器（手洗器付タイプの場合）

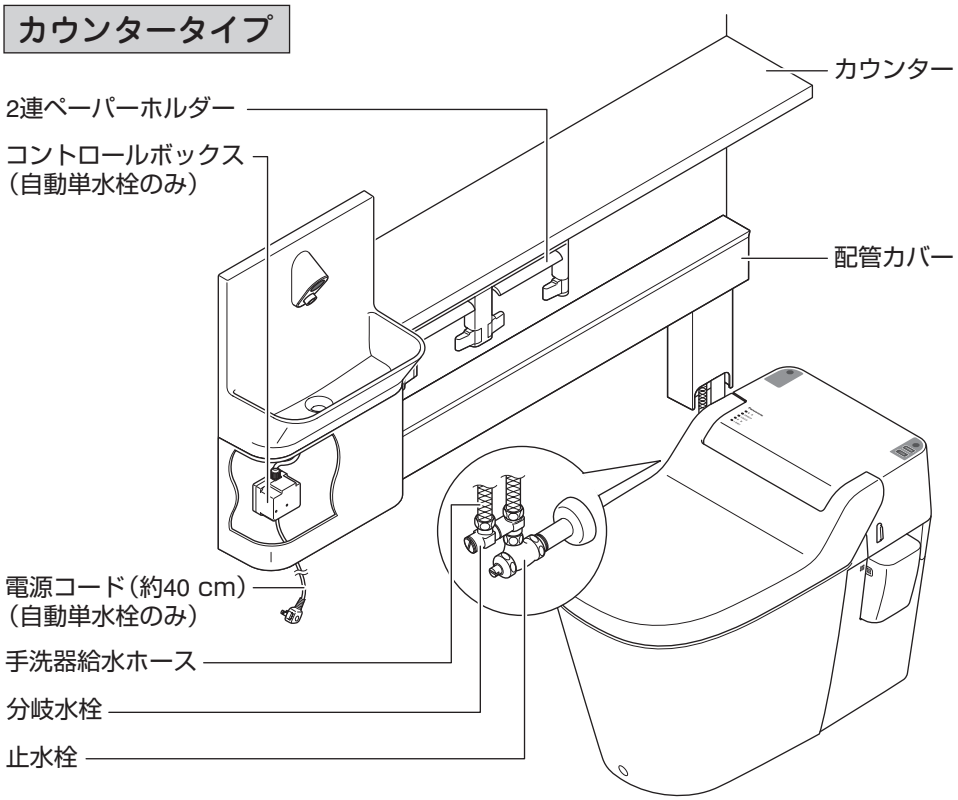
手動単水栓



自動単水栓



カウンタータイプ



コーナータイプ

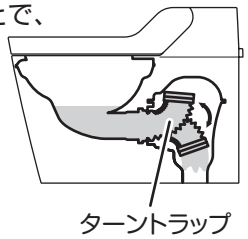
※イラストは左設置タイプです。

知っておいていただきたいこと

全般

節水･静音に優れたターントラップ洗浄方式

- トラップが上下に可動することで、汚物を排出します。
従来の便器と比べ、節水、静音性能が優れています。
また、スパイラル水流による旋回流の力で、ボウル面の汚れも強力に取り除きます。



水道水圧がたりないと便器洗浄水の勢いが弱くなります

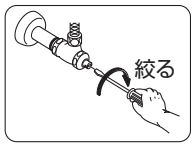
- 使用水道圧（動水圧）範囲は0.069～0.735 MPa {0.7～7.5 kgf/cm^2} です。使用水道圧（動水圧）が確保されない場合は、便座洗浄水がスパイラル水流で勢いよく洗浄しなくなります。
0.098 MPa {1.0 kgf/cm^2} 以下では、おしり・ビデの洗浄水量が少なくなります。
手洗器付きタイプをご使用の場合の使用水道圧（動水圧）範囲は0.098～0.735 MPa {1.0～7.5 kgf/cm^2} です。
- シャワーなど他の水廻り商品と同時に使用された場合、洗浄水の水流が弱くなり、便器に汚染残りの原因となる場合があります。
- おしり・ビデ洗浄は、水道圧を利用しています水道圧が弱い場合は、洗浄強さが弱くなることがあります。

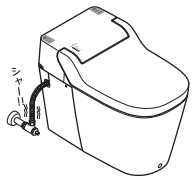
停電時や断水時での操作方法

- 停電時または断水時の便器洗浄のしかたをご覧ください。（32ページ）

給水ホースが振動したら

- 洗浄中、給水ホースが振動したり、給水音が大きい場合があります。これは水道水圧が高いことによるもので、故障ではありません。この場合止水栓を絞ってください。（ただし止水栓を絞りすぎて洗浄性能が不十分とならないように注意してください。）





直射日光を当てない

- 直射日光が商品に常時あたる位置への設置はお避けください。
商品が変色したり劣化したりするおそれがあります。

便器洗浄水量

- 出荷時の洗浄水量は、
大洗浄：約5.7 L、小洗浄：約4 L
（壁排水タイプの小洗浄は約4.5 L）です。
（動水圧0.098 MPa時）
- 大洗浄水量を約10 Lへ変更できます。
一部の地域では、使用条件が決められています。
各行政機関の指示に従って設定してください。
（12ページ）

トイレルーム内が 0 ℃以下になる場合

- 凍結防止についてのお願いを実施してください。
（28ページ）

温水洗浄便座

市販の便座カバー、便ふたカバーは使用できません

- 市販の便座カバー、便ふたカバーは使用できません。
使用すると、便座便ふた開閉機能や節電機能が正常に発揮できない場合があります。

便器と温水洗浄便座はセット商品です

- 温水洗浄便座は専用部品です。市販の温水洗浄便座と組み合わせることはできません。

温水タンクは約0.9 Lです

- 洗浄強さが「中」のとき約50秒使用すると、洗浄水温が低下します。

温水洗浄便座部は防水構造ではありません

- 水でぬれた場合は必ずふき取ってください。

夏場など気温が高いところでは便座、便ふたの閉まる速度が速くなることがあります。

おしり･ビデ洗浄について

- 局部周辺に付着した汚物や汚れを洗い流す機能です。
- 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。
※常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 局部の治療・医療行為を受けているかたは、使用については、医師の指示を守ってください。

おしり･ビデ洗浄位置は変更することができません

- 洗浄水が当たりにくい場合は、座る位置を前後に調整してください。

温水洗浄便座の耐荷重は

- 温水洗浄便座の耐荷重は980 N {100 kgf} です。

手洗器

手洗器について

- 便器洗浄時には手洗い水量が少なくなる場合があります。
- 手洗い排水は、便器へ排水されるため、手洗い水以外は流さないでください。
- 手洗器に造花などの飾り物を置かないでください。
- 手洗器の水を出しっぱなしにしないでください。
水が手洗いボウルからあふれるおそれがあります。
- 水が飛び散る場合は、止水栓を絞ってください。
- 手を洗う際には、周囲に水が飛び散らないように注意してください。

便器

洗浄後に排水管から音がする

- 洗浄後に便器の封水を確保するために、若干水が溢れる（オーバーフローする）仕組みになっており、その際に排水管で音（ピタ、ピチャなどの音）が発生する場合があります。

座る位置はなるべく深く後ろへ

- 前よりの座り方などでは、便座前部や便座後部、あるいはご使用されている方に、便器の溜まり水や小便が跳ね返る場合があります。
  水の跳ね返りが気になる場合は、トイレットペーパーを水面に浮かべて、跳ね返りがやわらぐよう、クッション代りでご使用ください。

男性も座って小便をしましょう

- 立小便をする場合、小便が跳ねて、便器外へ飛び出すことがあります。水はねを軽減させるため、男性も座って小用を足すことをおすすめします。

洗剤洗浄スイッチは常に入れておく

- 便器の洗浄効果を保つため、洗剤洗浄を「入」にした状態で、ご使用いただくことをおすすめします。（13ページ）

ピンク、黄色、赤、黒などの汚れが発生したら直ちに掃除をする

- 空気中に普通に存在するバクテリアなどが便器に付着し、水温・湿度・水質などの特定の条件下で繁殖することがあります。
- 汚れに気づいたら早めに処置を行ってください。（20、23ページ参照）
  便器洗浄面に広がった場合は、湿布法で落としてください。汚れ残りがあると繰り返しカビやバクテリアが発生する場合があります。

便器は不燃物ではありません

- タバコなど火気を近づけないでください。
  火災の原因となります。

便器洗浄時に水が外に飛び出す

- 水圧が高い場合、便器洗浄時に水が便器の外に飛び出す場合があります。
  この場合は、止水栓を絞ってください。

汚れについて

- 汚物の性質によっては、便器洗浄面に汚物が付着する場合があります。
- 水温や水質によっては便器内に微生物による汚れ（ピンク色など）が発生する場合があります。
  この場合は、便器水位スイッチを利用し、掃除用ペーパーなどでお手入れしてください。（20ページ）

リモコン

下記のような場合には、リモコンが作動しにくいことがあります。

- リモコン受光部・発信部に直射日光が当たっている。
- インバータ照明を使用している。
- リモコン受信部・発信部の上方に棚などの障害物がある。
- 本体の上に、トイレットペーパーなどの物を置いている。
- 本体の前方に窓ガラスや鏡などの反射物がある。
- 壁や天井の色が黒や紺など濃い色になっている。

  これらの場合は、直射日光が当たらないようにカーテンを使用したり、障害物を取り除くなどの工夫をしてからご使用ください。

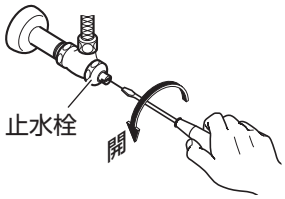
これは故障ではありません

- 他の蛇口を開いたり便器洗浄中には、水圧が下がり、一時的におしり・ビデ洗浄強さが弱くなることがあります。
- おしり・ビデ洗浄中、本体部裏側のノズル根元付近から水がでます。これは構造上必要なもので、故障ではありません。
- おしり･ビデ洗浄は2分以上連続使用すると、タイマーがはたらいて自動的に停止します。続けてご使用になりたい時は再度スイッチを押してください。
- おしり・ビデ洗浄中に立ち上がると、数秒間洗浄水が出たままになります。必ず（停止）を押してから立ち上がってください。
- 水質、室温、水道圧の変動により、泡立ちや泡残りが変わる場合があります。
  （洗浄性能には影響しません。）
  - 洗剤「切」に設定した直後数回は、洗剤が出てくる場合があります。これは内部配管に残った洗剤によるもので、故障ではありません。
  - 洗剤を大洗浄時のみ入れる設定で、大洗浄後に小洗浄を行った場合、便器内に洗剤の泡が少量残ることがあります。
- 空気を含んだ洗浄水を吐出するため、便器洗浄開始時に大きな洗浄音が発生する場合があります。
- 着座時に、部品の擦れによる音が発生する場合がありますが、故障ではありません。

ご使用前の準備

step 1 便器本体への給水準備

• 止水栓は開いていますか。
閉じている場合は開いてください。

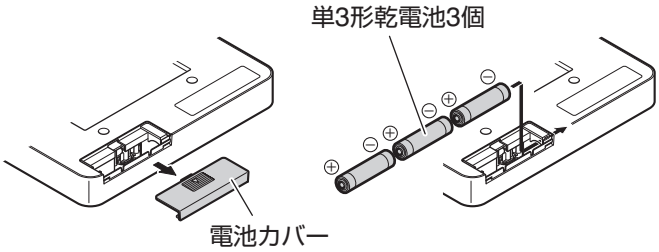


• 水漏れはありませんか。もし水漏れがあれば、止水栓を閉じて施工店にご連絡ください。

step 2 リモコンに電池を入れる

電池を入れてください

• 単3形乾電池を3個ご使用ください。
• 電池の ⊕⊖ を正しく入れてください。
• 電池寿命は約1年です。交換するときは3個とも新しい単3形乾電池に交換してください。
• 長時間（7日以上）使用しないときは電池を取り出してください。



⚠警告

禁止

電池は誤った使い方をしない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち込んだり保管しない。
- 新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使用しない。
- 加熱、分解したり、水、火の中に入れたりしない。
- 被ふくのはがれた電池は使わない。

取り扱いを誤ると、電池の液もれにより火災や周囲汚損の原因となります。
万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。

必ず守る

電池は正しく取り扱う
- ⊕⊖ は正しく入れる。
- 長期間使用しないときは取り出しておく。
- 必ず指定の電池を使用する。
- 乳幼児の手の届かないところにおく。
万一飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談する。
- 使い切った電池はすぐに器具から取り出す。
- 電池を破棄する場合、テープなどで絶縁する。
- 液が体についたときは、水でよく洗い流す。
- 液が目に入ったときは失明のおそれがあります。
目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、医師に相談する。

取り扱いを誤ると、電池の液もれにより火災や周囲汚損の原因となります。
万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。

step 3 便器本体への通電

漏電しゃ断器（プラグ付）をコンセントにしっかり差し込んでください。本体表示部の電源ランプが点滅します。
約10秒間は全ての操作を受け付けません。

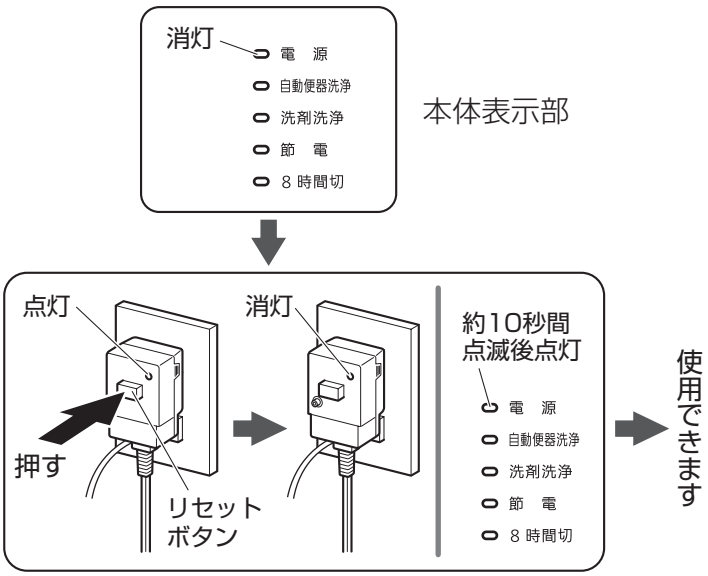
※電源ランプが点滅しない場合は、漏電しゃ断器（プラグ付）のリセットボタンを押してください。

※漏電しゃ断器（プラグ付）の漏電表示ランプが消灯した状態で通電可能になります。

約10秒以上点滅が続く場合は step 4 へ

点滅が点灯になった場合は step 5 へ

（電源ランプの点滅は、温水洗浄便座の温水タンクが満水になっていないことを表します。）



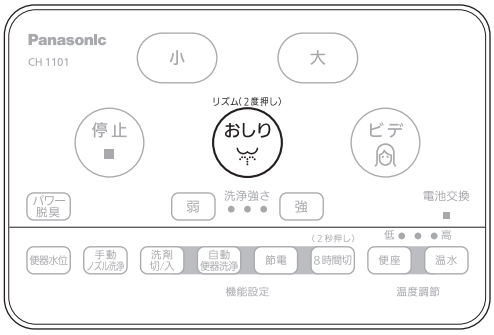
step 4 温水タンクへの給水方法

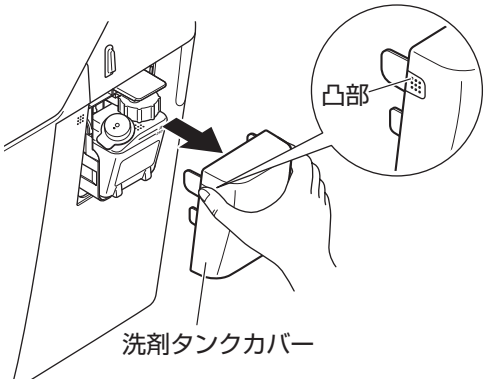
電源ランプが点滅している場合は、下記手順を行ってください。

① リモコンの（おしり）を押すと温水タンクに給水を始めます。約1分で満水になり、自動的に停止します。

② 温水タンクが満水になると、「ピッ」と音が鳴り給水が終わります。

③ 洗浄水温は適温になるまで、約5～10 分かかります。



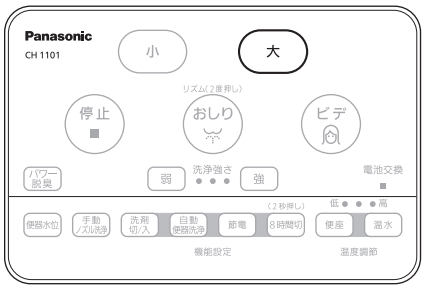


step 5 洗剤の確認

洗剤タンクカバーの凸部を持って取り外し、洗剤の準備ができているか確認してください。
洗剤の補充方法は、18ページをご覧ください。

step 6 便器洗浄面への給水方法

本体操作部の 大洗浄 またはリモコンの （大） を押すと、便器洗浄面に給水し、自動的に停止します。



本体操作部

step 7 設定の確認

出荷時の設定は、次のようになっています。
お好みの設定でお使いください。
※電源プラグを抜いても、出荷状態に戻らず、お客様が設定した状態を記憶しています。
（8時間切設定を除く。）
停電の場合も同様です。

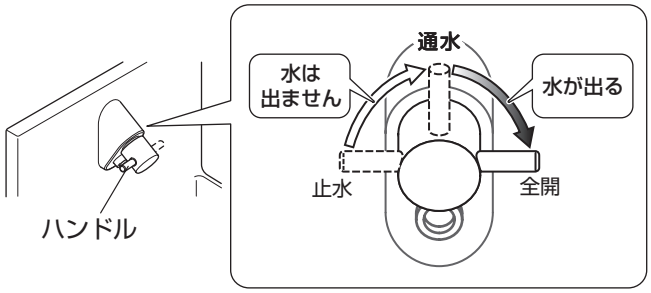
〈本体表示部〉
- ☼ 電　源
- ☼ 自動便器洗浄
- ☼ 洗剤洗浄
- ○ 節　電
- ○ 8 時間切

	項　　目	出　荷　時	詳細
便器部	自動便器洗浄	入	12ページ
	便器洗浄水量増モード	切	12ページ
	洗剤投入パターン	大洗浄時のみ洗剤入	13ページ
	洗剤投入量	ふつう	13ページ
温水洗浄便座部	洗浄強さ	中	14ページ
	温水温度	ふつう（約37℃）	14ページ
	便座温度	ふつう（約38℃）	15ページ
	脱臭	入	15ページ
その他	節電	切	16ページ
	8時間切	切	17ページ

step 8 手洗器の通水確認（手洗器付タイプの場合）

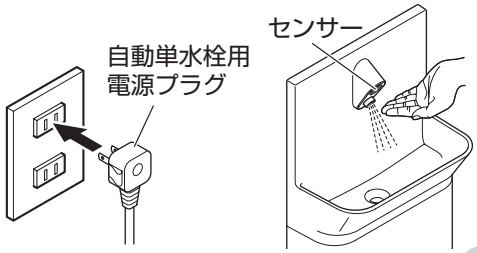
a）手動単水栓

ハンドルをまわすと、水が出ます。



b）自動単水栓

自動単水栓の電源プラグを、コンセントに差し込んでください。
センサーに手をかざすと水が出ます。



使いかた 便器洗浄

小 大 ✳ 便器大洗浄を行います。

✳ 便器小洗浄を行います。

- 小洗浄で流すことのできるトイレットペーパーの長さは、約3 m（シングル・ダブル共）までです。
- トイレットペーパーが流れにくい場合は、大洗浄をお使いください。
- トイレットペーパーは水溶性のものをお使いください。

本体操作部の 大洗浄 を押すと便器大洗浄を行うことができます。

※トイレットペーパーを一度に大量に流すと便器が詰まるおそれがあります。便器が詰まった場合の対処方法は、33ページをご覧ください。

本体操作部

自動便器洗浄の設定

立ちあがると約10秒後に自動的に便器を洗浄します。

解除 自動便器洗浄 を押すと、本体表示部の、自動洗浄ランプが消灯し、自動便器洗浄が解除されます。

設定 自動便器洗浄 を押すと、本体表示部の、自動洗浄ランプが点灯し、自動便器洗浄が予約されます。

※出荷時は、自動便器洗浄が「入」になっています。
※着座時間が50秒以下の場合は小洗浄、50秒を超えた場合は大洗浄になります。（出荷時の設定の場合、小洗浄時洗剤は出ません。）（13ページ参照）
※10秒以上着座しないと自動便器洗浄は働きません。
※自動便器洗浄の設定時間（約10秒後の洗浄）は変更できません。

洗浄水量増量モードの設定

大洗浄水量を約10 Lへ変更できます。

一部の地域では、使用条件が決められています。各行政機関の指示に従って設定してください。

✳ 出荷時の洗浄水量は大洗浄約5.7 L、小洗浄約4 L（壁排水タイプは約4.5 L）です。（動水圧0.098 MPa時）

- 弱 と 自動便器洗浄 を同時に2秒間押すと、ブザー音が「ピッ」と鳴り、増量モードが設定されます。

増量モードの洗浄水量は、大洗浄約10 L、小洗浄約4 L（壁排水タイプは約4.5 L）となります。

水量増量解除の方法

step 1 アラウーノS便器本体の電源を切る

操作 漏電しゃ断機（プラグ付）を電源コンセントから抜きます。

20秒以上待ってから次の作業を行ってください。

step 2 本体操作部の 洗剤開始 スイッチを押したままで、漏電しゃ断機（プラグ付）を電源コンセントに差し込む

洗剤開始 スイッチは、「ピー」と鳴るまで押し続けてください。（5秒以上）

- 「ピッ」：電源投入確認音です。
- 「ピー」：増量モード解除設定音です。

◆すでに解除（標準）になっている時は、ブザー音は鳴りません。

本体操作部

step 3 増量モードが解除されていることを、便器洗浄時間で確認する

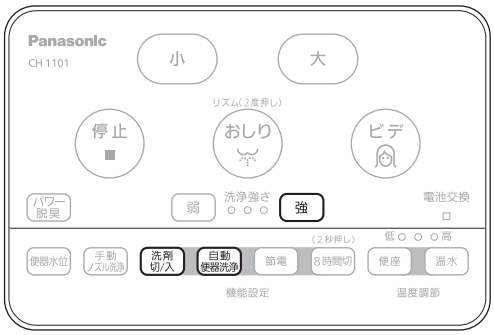
増量モードが解除されたとき（標準モード）の便器大洗浄時間は、約19秒以下になります。

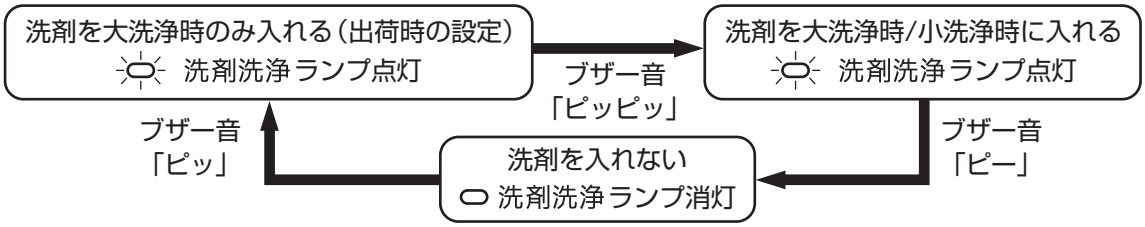
洗剤洗浄の設定

◎洗剤投入パターンの設定

✳ リモコンの 洗剤 切/入 スイッチを押すごとに、洗浄投入パターンの設定が切り替わります。

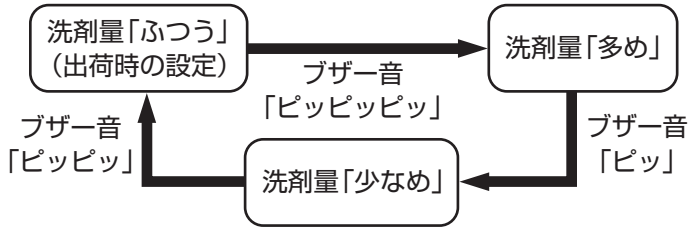
〈本体表示部〉
- 電　源
- 自動便器洗浄
- 洗剤洗浄
- 節　電
- 8 時間切

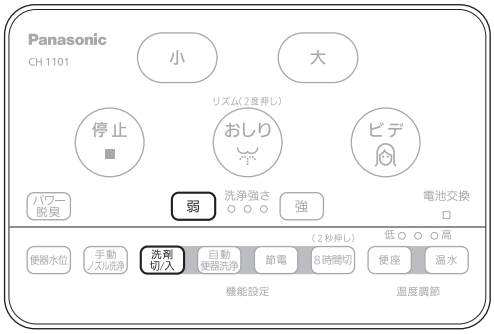




◎洗剤投入量の設定

✳ 弱 と 洗剤 切/入 を2秒間同時に押すごとに、洗剤量設定が切り替わります。

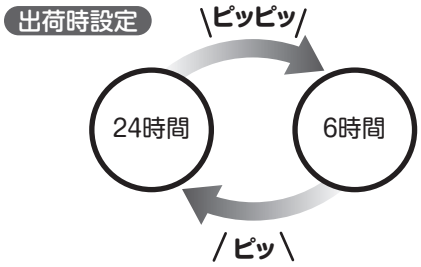




自動お掃除機能について

●洗剤洗浄ランプ点灯時、24時間以上大・小洗浄しなかった場合、便器洗浄面をきれいに保つため自動的に洗剤を含んだ小洗浄を行います。
※洗剤「切」にした場合、便器洗浄面の自動お掃除機能は働きません。

●時間設定を切り替えることができます。



24時間 ⇒ 6時間

強 と 自動 便器洗浄 を同時に2秒間押す。
- ブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。

6時間 ⇒ 24時間

強 と 自動 便器洗浄 を同時に2秒間押す。
- ブザー音が「ピッ」と鳴ります。

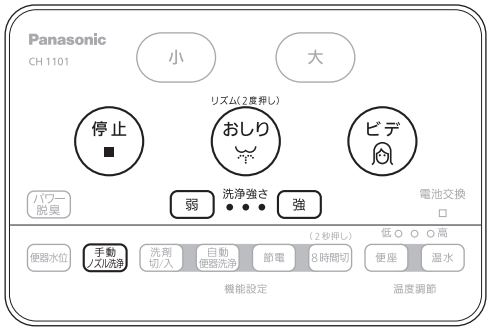
※室温が20 ℃以下の場合、設定にかかわらず48時間後に自動お掃除機能が働きます。

お願い！

- 洗剤洗浄ランプ点灯時、洗剤による泡が発生しない場合は、洗剤を補充してください。（18ページ）
- 長期不在（7日以上）や長期洗剤未使用（7日以上）などで洗剤洗浄をしない場合、洗剤タンクの水洗いと本体内水循環をしてください。（25ページ）
  ・洗剤が変質して詰まる可能性があります。

■「洗剤補充のしかた」、洗浄用に使用する洗剤・使用できない洗剤は、18ページで確認してください。

使いかた おしり洗浄・ビデ洗浄



おしり　ビデ　**いずれかを押し、洗浄する**

停止　**を押すと、停止します**

おしり・ビデ洗浄中に 弱 強 を押すと、洗浄強さを3段階で調節できます

- 直前に使った洗浄強さを記憶しています。

おしり洗浄中に（リズム(2度押し) おしり）を押すと、強弱を繰り返す刺激感のあるリズム洗浄になります。

もう一度（リズム(2度押し) おしり）を押すと通常のおしり洗浄に戻ります。

※おしり・ビデの洗浄は、2 分間連続使用すると、自動的に停止します。
　続けてご使用になりたい時は、再度スイッチを押してください。

※洗浄強さが「中」のとき、約50 秒使用すると、洗浄水温が低下します。

ノズル滝洗浄機能について

使用する度にノズルを洗浄します。

おしりとビデのノズル部分を、使用前・後、立ち上がり後の計3回、強力シャワーで自動洗浄。
ノズル先端から柄の部分まで、汚れをしっかり落として清潔さを保ちます。

1 前洗浄*ノズルが出るときに 洗う。

▼

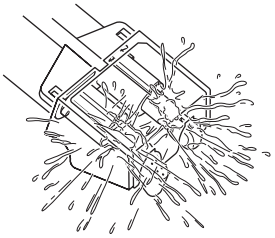
2 後洗浄*ノズルが戻ってから 洗う。

▼

3 仕上洗浄 立ち上がったときに 洗う。

*前洗浄・後洗浄は、便座に座ってから1回目のおしり・ビデ洗浄のみ行います。

強力シャワーで、ノズルをとことん掃除。



ノズルから、強力なシャワーが放出。
おしり用・ビデ用それぞれのノズルを両サイドから洗い、汚れをしっかり落とします。

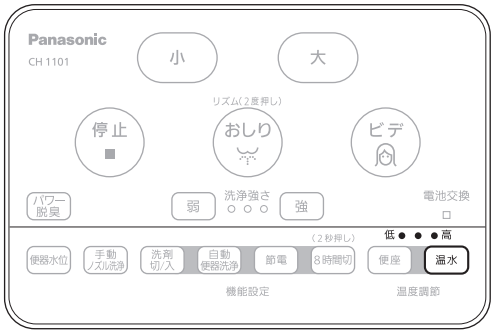
ノズル滝洗浄機能を止めたいとき

弱 と 手動ノズル洗浄 同時に2秒間押す。（ブザー音が「ピッ」と鳴ります。）

ノズル滝洗浄機能を再設定したいとき

弱 と 手動ノズル洗浄 同時に2秒間押す。（ブザー音が「ピー」と鳴ります。）

◎温水温度調節



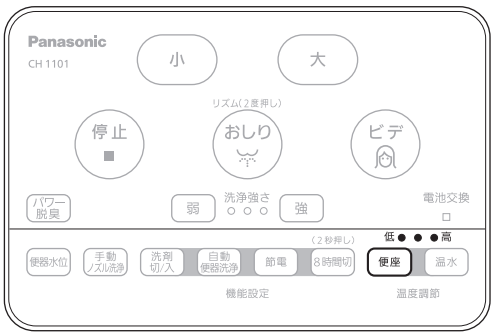
温水 を押すごとに温水温度設定が切り替わります。

→ 切（水温） → 低め（約33 ℃） → ふつう（約37 ℃） → 高め（約40 ℃） →

- 冬場など、水温が極端に低い場合、温水温度が設定温度より低くなる場合があります。

便座・脱臭・リモコン

便座温度調節

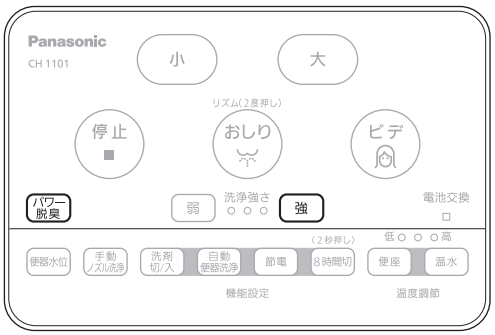


便座 を押すごとに便座温度設定が切り替わります。

切 → 低め（約34 ℃）低☀○ ○高 → ふつう（約38 ℃）低○☀○高 → 高め（約40 ℃）低○ ○☀高 → 切

- 冬場など、室温によっては、便座温度が設定温度より低くなる場合があります。

パワー脱臭



脱臭の風量を約1.5倍にアップしてにおいを強力に吸収します。

着座中に パワー脱臭 を押すと、ブザー音が「ピッ」と鳴り、パワー脱臭機能がはたらき、再度 パワー脱臭 を押すと、ブザー音が「ピー」と鳴り、解除されます。

トイレルーム内の臭気などには脱臭効果が少ない場合があります。
便座に座ると同時に脱臭します。
便座から立ち上った後、約1分間パワー脱臭をします。

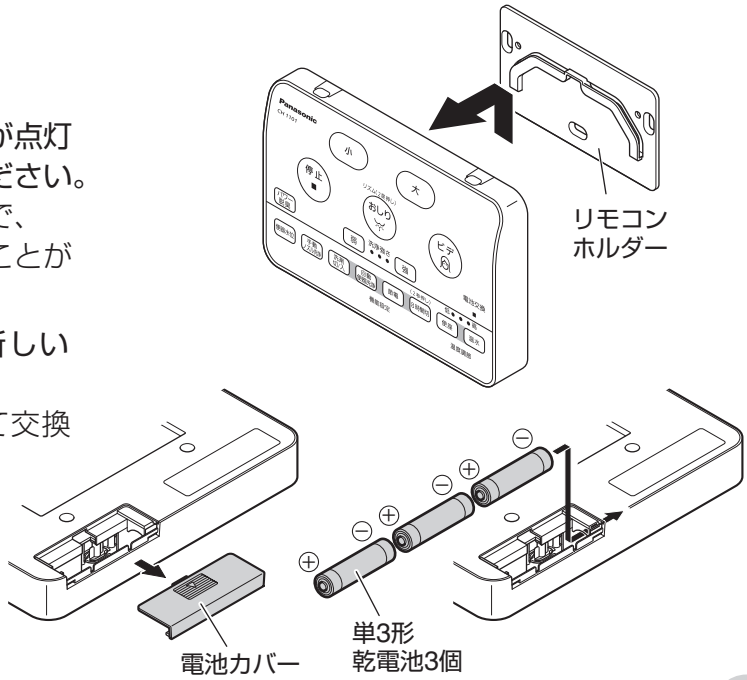
脱臭機能を止めたいとき

強 と パワー脱臭 同時に2秒間押す。（ブザー音が「ピー」と鳴り解除できます。）

脱臭機能を再設定したいとき

強 と パワー脱臭 同時に2秒間押す。（ブザー音が「ピッ」と鳴ります。）

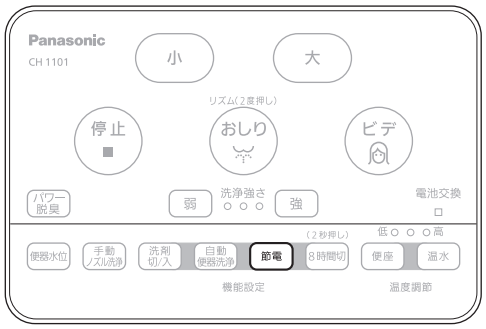
リモコンの電池の取り替え



- 電池容量が減るとリモコンの電池交換ランプが点灯しますので、早めに新しい電池に交換してください。
  ※リモコンを上に持ち上げて手前に引くことで、リモコンをリモコンホルダーから取り外すことができます。
- 新しい電池に取り替える場合は、3個とも新しい単3形乾電池に取り替えください。
  ※電池はリモコン裏面の電池カバーを開けて交換してください。
  （電池の ⊕⊖ を正しく入れてください。）
- 電池寿命は約1年です。
- 長期間（7日以上）使用しない時は、電池を取り出してください。

使いかた 節電

節電スイッチ



節電 を押すと、ブザー音が「ピッ」と鳴り本体

表示部の節電ランプが点灯します。

- 節電ランプが点灯しているときは便座に座らない間、便座温度、温水温度が約28 ℃になります。
- 便座に座ると自動的に元の便座温度、温水温度設定に戻ります。立ち上がると、再び節電運転に戻ります。
- 再度 節電 を押すとブザー音が「ピー」と鳴り設定解除できます。

便座温度、温水温度を事前に「切」にしていた場合は、約28 ℃の設定になりません。「切」のままとなります。

お知らせ さらに節電するためには

- **使用後は便座・便ふたを閉める。**
- 夏場は温水、便座の温度調節を「切」にする。

⚠注意

禁止

凍結防止ヒーターを使用する場合は節電スイッチは使用しない（寒冷地仕様のみ）

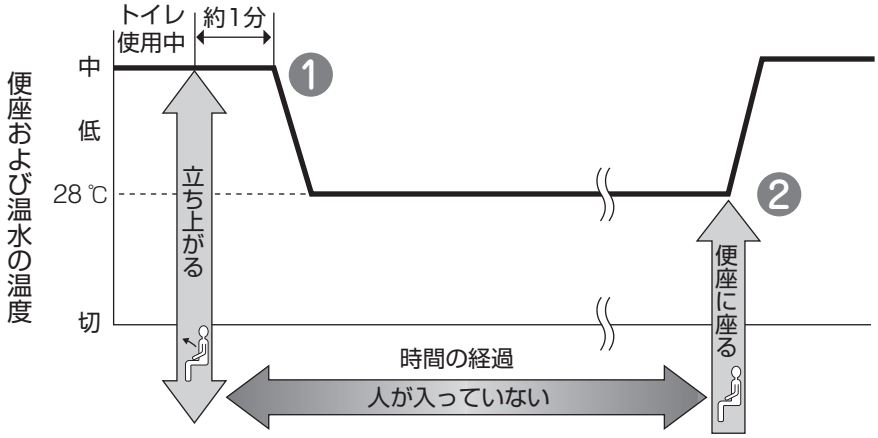
便ふた部の結露で床をぬらす原因となります。

節電について

節電とは？

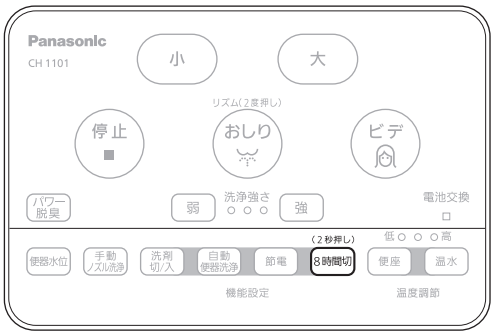
着座スイッチにより便座に人が座っているか、いないかを検知し、座っていないときには、便座と温水を約28 ℃で保温して、無駄な電気をセーブする機能です。

はたらきとしくみ 便座および温水の設定温度が「中」の場合



1. 便座から立ちあがって、約1分後に温度を約28 ℃で保温します。
   ※元々の設定温度が「高」の場合でも、約28 ℃で保温します。
2. 人が便座に座ると、元の設定温度に戻ります。

8時間切タイマー



8時間切 を2秒間押すと、ブザー音が「ピッ」と鳴り、

本体表示部の8時間切ランプが点灯し、その他のランプが消灯します。

- 8時間切ランプが点灯しているとき、便座温度、温水温度が「切」になり、おしり洗浄、ビデ洗浄は使用できなくなります。（※8時間後、もとの設定にもどります。）

※8時間切タイマーがはたらいている途中でも着座すると、すべての機能が使用できます。
使用後、便座から立ち上がると8時間切設定に戻ります。

再度 8時間切 を2秒間押すと、ブザー音が「ピー」と鳴って、本体表示部の8時間切ランプが消灯し、設定が解除されます。

⚠注意

禁止	**凍結防止ヒーターを使用する場合は8時間切スイッチは使用しない（寒冷地仕様のみ）** 便ふた部の結露で床をぬらす原因となります。
	凍結のおそれのある場合は、8時間切スイッチは使用しない 温水タンクなどが破損し、水漏れの原因となります。

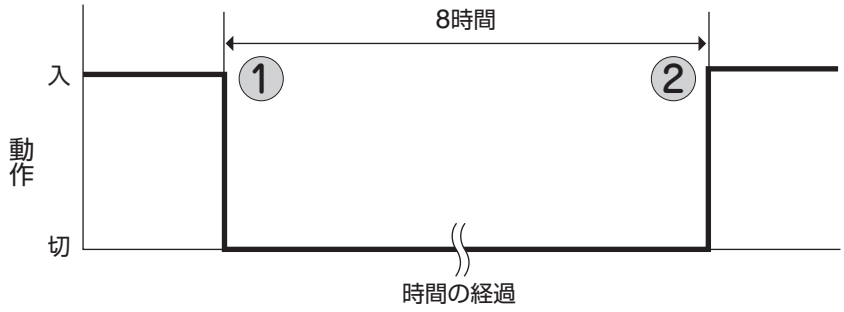
8時間切タイマー

8時間切タイマーとは

便座と温水の温度を8時間「切」にして無駄な電気をセーブし、8時間後には、元の設定に復帰する機能です。

- **就寝時や、長時間外出するときなどにおすすめの機能です。**

はたらきとしくみ

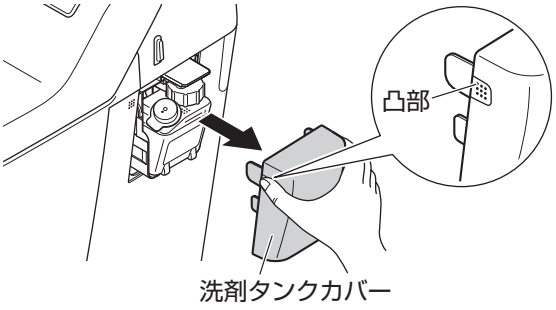


① タイマーを設定すると、便座温度、温水温度が「切」になります。
※おしり洗浄、ビデ洗浄は使用できません。
便器洗浄機能は使用できます。

② 8時間後に、元の設定に復帰します。

使いかた 洗剤の補充

• 便器洗浄後に泡が残らない場合は、洗剤の残量を確認し、補充してください

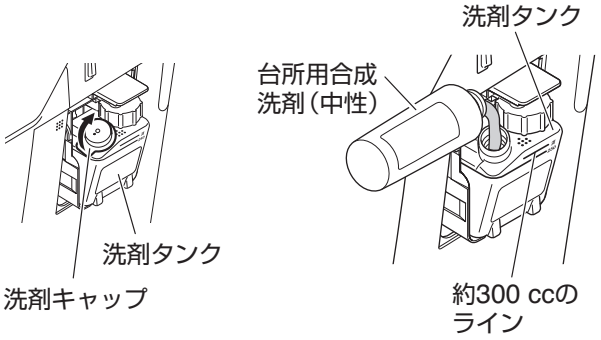


step 1 洗剤タンクカバーの凸部を持って外す

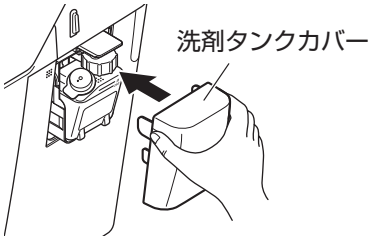
※水平にまっすぐ引き出してください。
斜めに引くと洗剤タンクが落下する場合があります。

step 2 洗剤キャップを外し、台所用合成洗剤（中性）をラインの位置まで補充する

• ラインの位置で、約300 ccです。
• 補充のときには、ごみ・ほこりが入らないようにご注意ください。
• 洗剤がこぼれた場合は、ふき取ってください。



step 3 洗剤キャップを閉め、洗剤タンクカバーを取り付ける



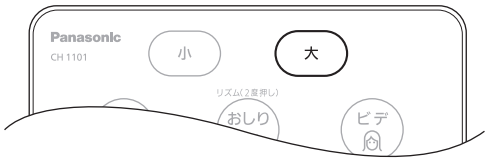
step 4 本体操作部の 洗剤開始 を押す（約30秒後「ピー」と鳴ります）

• 洗剤開始 を押した直後数回の洗浄では、泡の量が増加する場合があります。
（故障ではありません。）

本体操作部

step 5 リモコンの 大 を押し、洗浄後、水面に洗剤の泡が浮いていることを確認する

• 泡が出ない場合は、もう一度 洗剤開始 を押してください。



洗剤タンクへの補充は、台所用中性洗剤をご使用ください。

■ 使用する洗剤

• 市販の台所用中性洗剤をご使用ください。
• 洗剤タンクの容量は300ccです。
洗剤は薄めず原液を使用してください。
十分な洗剤効果が得られなくなります。

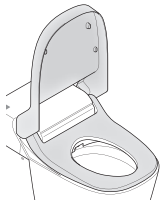
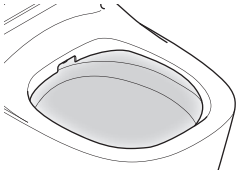
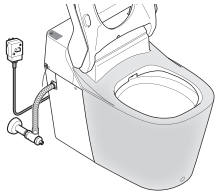
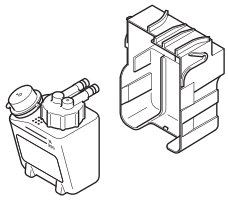
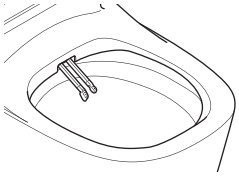
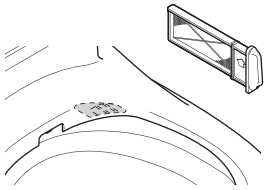
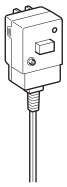
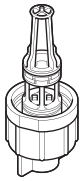
■ 使用できない洗剤

• オレンジオイルを含む洗剤、柑橘系の香りを有する洗剤、トイレ用洗剤、ジェルタイプの洗剤や「ヤシの実洗剤」などの天然の材料としている洗剤は効果が得られません。
• 洗剤タンクにはトイレ用洗剤やその他の酸性・アルカリ・塩素系洗剤は使用できません。
（故障の原因となります。）

■ お願い

• 種類の異なる洗剤は混ぜないでください。
異なる洗剤を補充する場合は、事前に洗剤タンクの水洗いと本体内水循環をしてから補充してください。
（25ページ参照）

お手入れ　お手入れカレンダー

部位・部品名	日常	週1度	月1度	3か月～1年
便座 便ふた 	柔らかい布で水ぶきする。 （21ページ参照）		汚れがついたら便座を外してお手入れする。（21ページ参照）	
便器（内側） 			赤・ピンク・黄・かっ色・グレー・黒い汚れがついたらトイレ用ブラシで早めにお手入れする。 ガンコな場合、トイレ用漂白剤で落とす。 （20ページ参照）	
便器（外側） 	柔らかい布で水ぶきする。 （22ページ参照）			
洗剤タンク 洗剤タンクホルダー 			年に1度または異なる洗剤を補充する時に洗う。 （25ページ参照）	
洗浄ノズル 		ノズル除菌クリーニングをする。 （26ページ参照）	汚れがついていたら歯ブラシでこすり落とす。	
脱臭フィルター 脱臭吸込口 			フィルターと吸込口の汚れを歯ブラシでこすり落とす。 （26、27ページ参照）	
漏電しゃ断器（プラグ付） 			ほこりがついていたらふき取る。	
ストレーナ 			洗浄水の流れが悪くなったらお手入れする。（30ページ参照）	

お手入れ　汚れの種類・おすすめ洗剤と道具・温水洗浄便座部・手洗器

◎汚れの種類とお手入れ方法

赤・ピンク・黄・かっ色・グレー汚れ	●場所／便器・ため水 ●原因／空気中に普通に存在するバクテリアなどが便器に付着し、水温・湿度・水質などの特定の条件下で繁殖します。	●お手入れ方法／ ・早めに トイレ用中性洗剤や、トイレ用ブラシで落としましょう。 ・水中に汚れが広がったら 漂白剤を使った湿布法※で落とします。その後、洗浄操作を行い洗い流します。
黄色い汚れ	●場所／便器・便座・便座裏側・床 ●原因／尿による汚れ	●お手入れ方法／ ・早めに トイレ用中性洗剤や、柔らかい布で水ふきして落としましょう。 ・ガンコな汚れ 漂白剤を使った湿布法※で落とします。その後、洗浄操作を行い洗い流します。
黒い汚れ	●場所／便器のふち ●原因／カビによる汚れ	●お手入れ方法／ ・早めに トイレ用中性洗剤や、柔らかい布で水ふきして落としましょう。 ・水中に汚れが広がったら 漂白剤を使った湿布法※で落とします。その後、洗浄操作を行い洗い流します。
バリウム（医療用造影剤）	●場所／便器	●お手入れ方法／ ・早めに トイレ用中性洗剤で落としましょう。

※湿布法：便器内の水を排出した後、汚れの部分にトイレットペーパーを敷き、市販のトイレ用漂白剤を吹きつけてパックします。
浄化槽をご使用の場合は湿布法に使用したトイレットペーパーを流さないでください。
まわりをふいて漂白剤がなるべく浄化槽へ流れないようにしてください。（23ページ参照）

◎おすすめの洗剤と道具

【便器】

トイレ用洗剤（中性）
・日頃のお手入れに使います。

トイレ用漂白剤
・ガンコな黒ずみと黄ばみを落とします。
（カビ・バクテリアなどの除去）

トイレ用ブラシ
・PP(ポリプロピレン)製
※研磨剤の入っていないもの

【便座・便ふた】

台所用洗剤（中性）
・日頃のお手入れに使います。

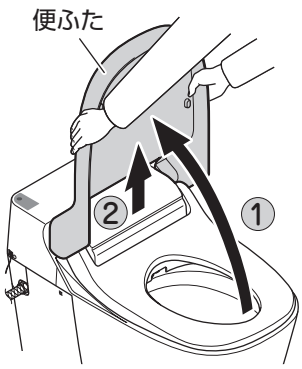
柔らかい布
・日頃のお手入れに使います。

温水洗浄便座部・手洗器

- 柔らかい布で水ふきし、よく絞った布でふき取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布に含ませてふき取り、その後、水ふきし、最後によく絞った布でふき取ってください。
- クレンザーや研磨剤の入っている洗剤は、温水洗浄便座本体や便座や便ふた、手洗器を傷つけますので使用しないでください。
- 酸性やアルカリ性の洗剤は温水洗浄便座内、手洗器の金属部分を腐食させるおそれがありますので、絶対に使用しないでください。

便座・便ふた

- 柔らかい布で水ふきし、よく絞った布で汚れをふき取ってください。
- 汚れが目立つときは、以下の方法にしたがい中性洗剤で洗ってください。

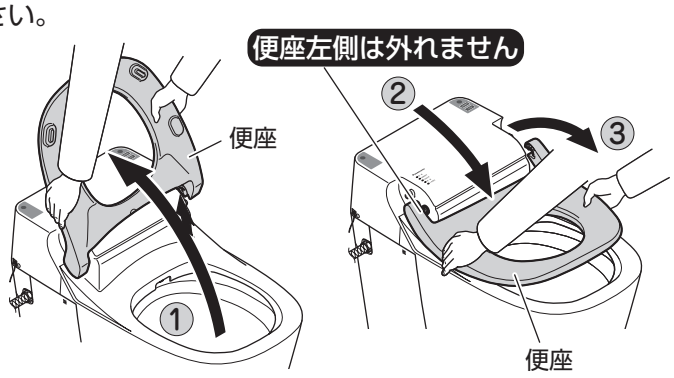


step 1 便ふたを取り外す

① 便ふたを垂直に立てる。
必ず垂直の状態で取り外してください。
垂直以外の状態で引き抜くと破損するおそれがあります。

② 上方へ引き抜く。
斜め方向に引き抜くと軸が外れる場合があります。
この場合は、軸を差し込んで元に戻してください。

step 2 便器に向かって右側の便座を外す（左側は外れません）



① 便座を垂直に立て、右側を持ち上げて軸から外す。
必ず垂直の状態で取り外してください。
垂直以外の状態で引き抜くと破損するおそれがあります。

② 右側を外した状態で便座を倒す。
便座左側は外れません。
（強く引っ張ると破損するおそれがあります。）

③ 左の軸を中心に手前へ引き出す。

step 3 便座・便ふたをお手入れする

① 柔らかいスポンジに中性洗剤を付けてふく。

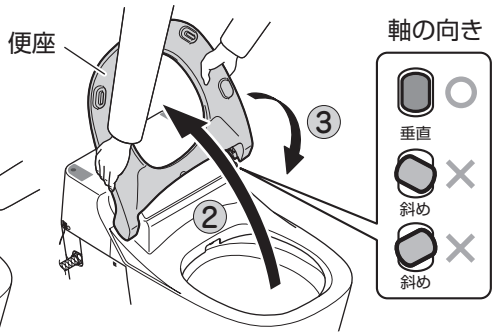
② ふいた後は、よく絞った布でふき取る。

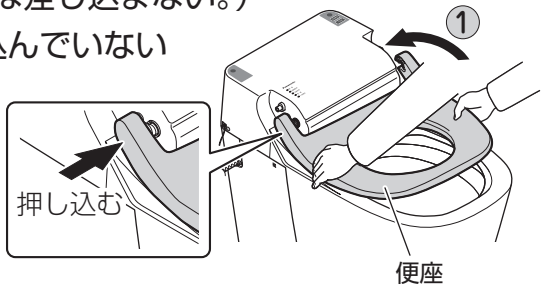
step 4 便座を取り付ける

① 便座を倒した状態で、右側を軸の位置まで戻す。（軸には差し込まない。）

② 右側の軸を差し込んでいない状態で便座を垂直に立てる。

③ 右側を確実に軸に差し込み、便座を倒す。

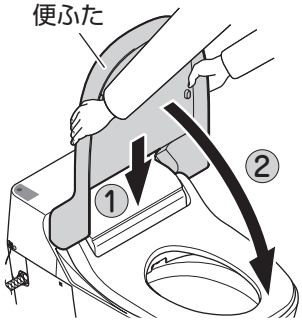




step 5 便ふたを取り付ける

① 便ふたを垂直に立てた状態で、確実に差し込む。

② 便ふたを倒す。

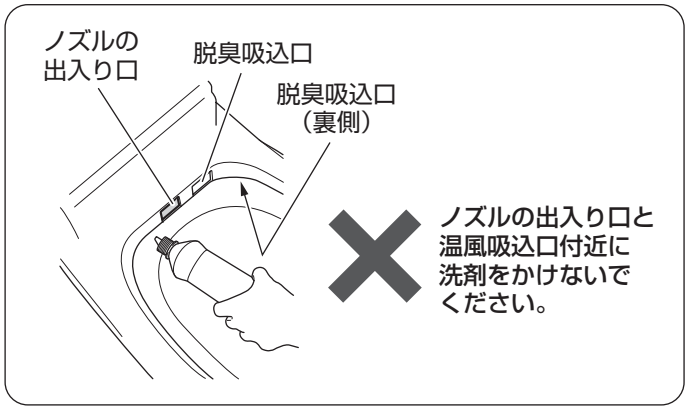


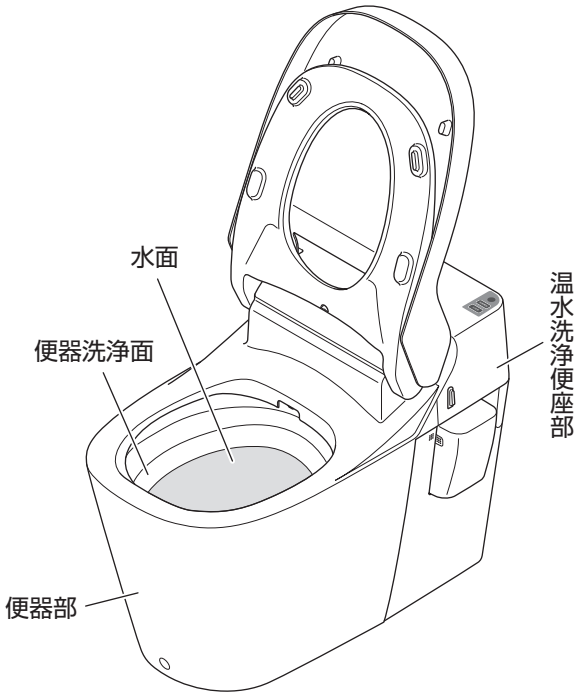
お手入れ 便器

◎日常のお手入れ

- 柔らかい布で水ふきしてください。
- 研磨剤入りやナイロンたわしは、器具の表面を傷つけますので、絶対に使用しないでください。
- 便器のお手入れに次のような薬剤や洗剤は使用しないでください。

（例）塩酸・シンナー類・ベンジン・アルコール・殺虫剤・タイル洗い・酸・アルカリ性の洗剤・重曹など





⚠注意

禁止

酸・アルカリ性の洗剤、重曹、アルコール（エタノール、イソプロピルアルコールなど）を含む洗剤、消臭剤、トイレ掃除用ペーパー※、滴下するタイプの消臭液や、シンナー・ベンジン・アルコール・その他薬品などを使用しない

- 割れてけがをしたり、感電の原因になります

※花王製トイレクイックルは、ご使用いただけます。
（弊社試験により確認済み）

アルコールを含む消臭剤を置かない

- 割れてけがをしたり、感電の原因になります。

ノズルの出入り口と温風吹出口と脱臭吸込口付近に洗剤をかけない

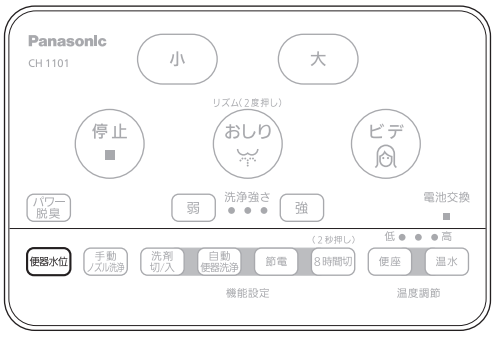
◎汚れが目立ったら

― 水面部分に汚れがついた場合 ―

- 水温や水質によってため水部分に色の付いた汚れが発生する場合があります。
- リモコンの 便器水位 を利用すれば簡単にお手入れが可能です。
  20ページ「汚れの種類・洗剤と道具」を参照してお手入れしてください。
- **上記で便器の汚れが取れない場合**
  トイレ用ブラシ（PPブラシ）と、トイレ用中性洗剤でこすり落としてください。

― 便器の洗浄面に汚れがついた場合 ―

- 湿布法で汚れを落としてください。
  1. トイレ用ブラシで汚れを落とし、簡易的な掃除を行う。
  2. 水を抜く。（31ページ参照）
  3. トイレットペーパーを便器内に敷いて、トイレ用漂白剤をかけて、3分間放置する。
  4. そのまま洗い流す。

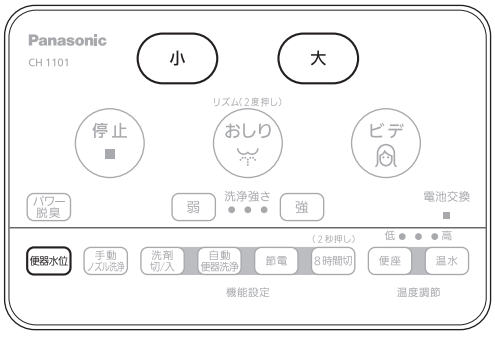


便器水位の下げかた

- 便器洗浄面のお手入れをしやすいように、ため水の水位を一時的に下げることができます。

  リモコンの 便器水位 を押すと、約3秒間水が流れ、水位が約3cm下がります。

  お手入れ後、リモコンの 便器水位 または 大 または 小 を押すと、いったん便器洗浄を行い、通常の水位に戻ります。
  （放置していても約20分後に大洗浄を行い、通常の水位に戻ります。）



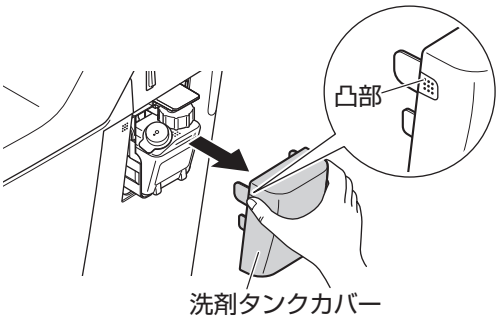
お手入れ 洗剤タンク

洗剤タンクおよび洗剤タンクホルダーの外しかた

• 洗剤タンクや洗剤タンクホルダーが汚れた場合は、取り外して水洗いしてください。

step 1 洗剤タンクカバーの凸部を持って外す

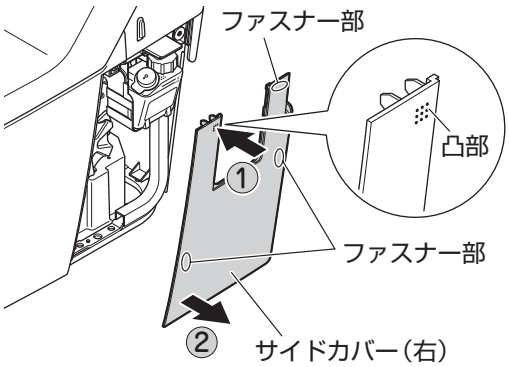
※水平にまっすぐ引き出してください。斜めに引くと洗剤タンクが落下する場合があります。



step 2 サイドカバー(右)を外す

① サイドカバー(右)の凸部を押す。

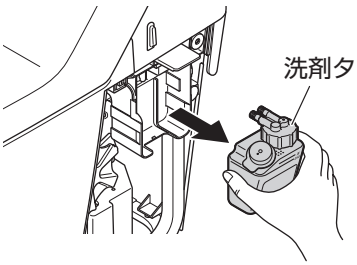
② すき間から指を入れ、水平方向に引き出す。(ファスナー部3か所を引きはがす。)



step 3 洗剤タンクを取り出す

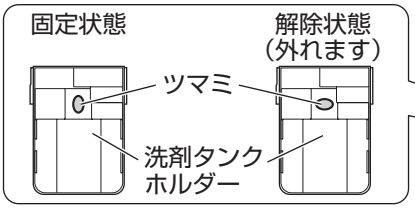
水平に引き出してください。

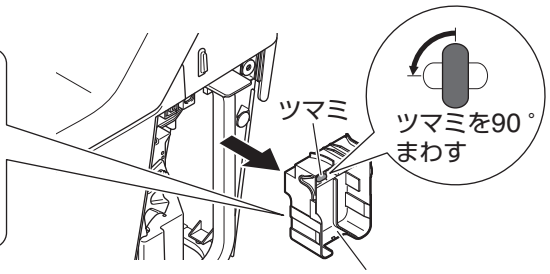
※洗剤がたれる場合がありますので、ぞうきんなどでふき取ってください。



step 4 ツマミを反時計まわりに90°まわして、洗剤タンクホルダーを取り外す

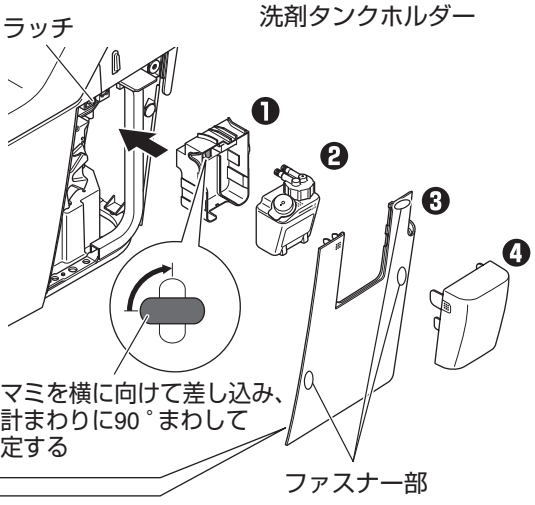
※洗剤タンクホルダーは、ツマミで固定されています。





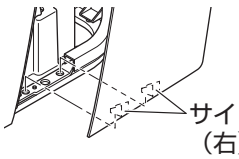
step 5 逆の手順で、洗剤タンクホルダー、洗剤タンク、サイドカバー(右)、洗剤タンクカバーを取り付ける

洗剤タンクと洗剤タンクカバーは、水平にまっすぐ、つきあたるところまで押し込んでください。

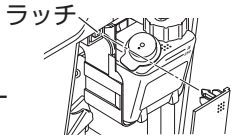


サイドカバー(右)の取り付け

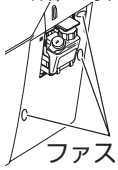
①サイドカバー(右)の足部をフレームの穴にあわせておく



②凸部をラッチにあわせて押す※(カチッと鳴ります)



③ファスナー部(3か所)を押し込む



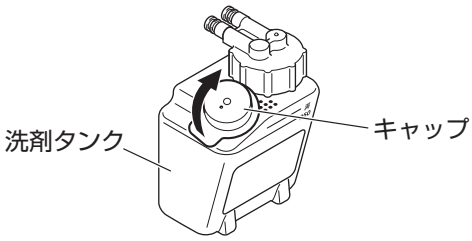
※引っかかったまま無理に押し広げないでください。ラッチ部が破損する場合があります。

洗剤タンクの水洗いと本体内水循環のしかた

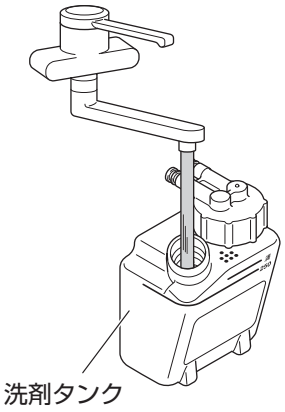
以下の場合は、必ず事前に洗剤タンクの水洗いと本体内水循環をしてください。
・異なる洗剤を補充する場合
・長期不在（7日以上）や長期洗剤未使用（7日以上）などで洗剤洗浄をしない場合

step 1 洗剤タンクを取り出す

「洗剤タンクおよび洗剤タンクホルダーの外しかた」（24ページ参照）



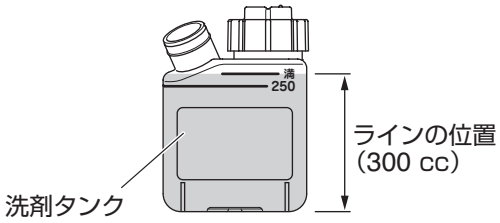
step 2 洗剤キャップを外す



step 3 洗剤タンクを水洗いする

※洗剤タンク内の洗剤を取り除き、水道水にて泡が出なくなるまで水洗いする。

step 4 洗剤タンク内に水道水をラインの位置まで入れ、洗剤タンクを便器に取り付ける



step 5 本体操作部の 洗剤開始 を押し、本体内に水を循環させる

※約30秒後に「ピー」と鳴り、操作が完了します。

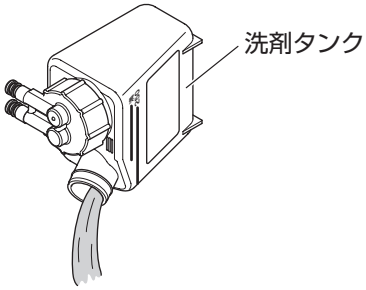
操作完了後、再度 洗剤開始 を押す

※水循環を2回実施します。

本体操作部

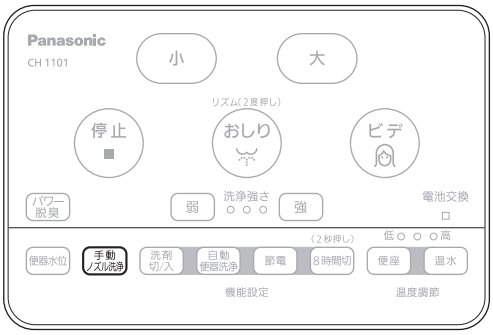
step 6 洗剤タンクを便器から取り外し、洗剤タンク内の水を抜いてから、再度本体にセットする（24ページ参照）

※洗剤タンク差し込み口から水が垂れる場合がありますので、ぞうきんなどでふき取ってください。



お手入れ 洗浄ノズル・脱臭フィルター

洗浄ノズル

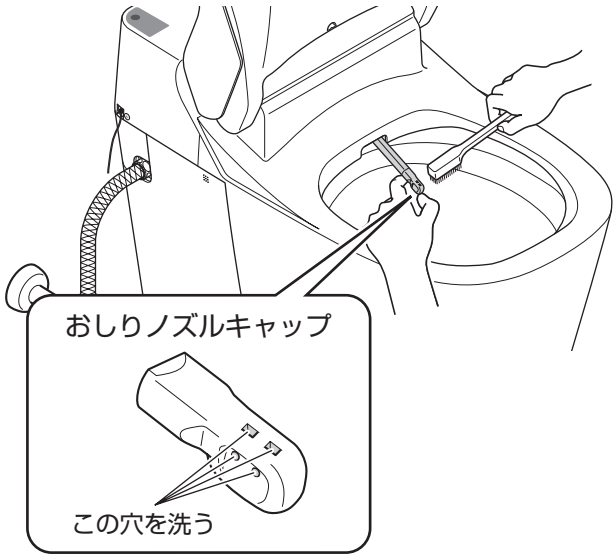


step 1 リモコンの 手動ノズル洗浄 をスイッチを押す

※約5秒間ノズルを強力に洗浄します。
ノズルは便器に収納した状態で洗浄します。
自動では出てきません。

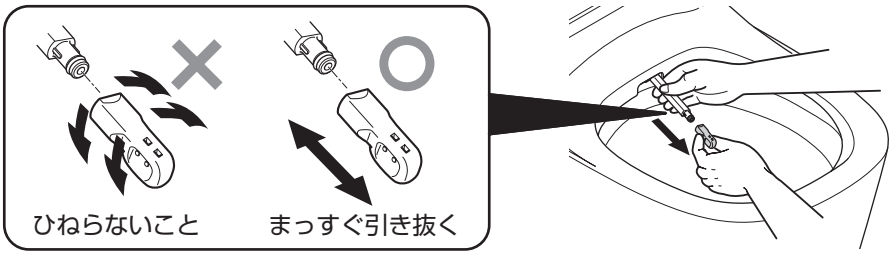
step 2 ノズルを手で引き出してパイプ部をしっかりと持ち、ノズル、パイプ部の汚れを洗い落とす

※引っ張りすぎたり、無理に押し込むと水がふき出してくるので、注意してください。



おしりノズル、ビデノズルの目づまりはノズルをまっすぐに引き抜いて水洗いする。

※おしりノズル側面の空気穴も目づまりしないように水洗いしてください。



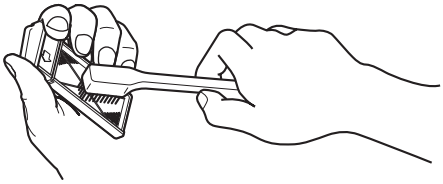
脱臭フィルター

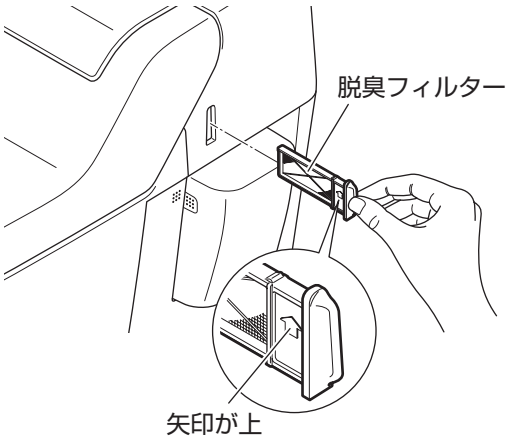
- 脱臭フィルターがつまると、適正な性能が得られなくなります。
効果が弱くなったり、脱臭音が大きくなったときは、脱臭フィルターのお手入れをしてください。

step 1 脱臭フィルターのつまみを持って引き出す

step 2 歯ブラシなどでほこりを取り除き、元に戻す

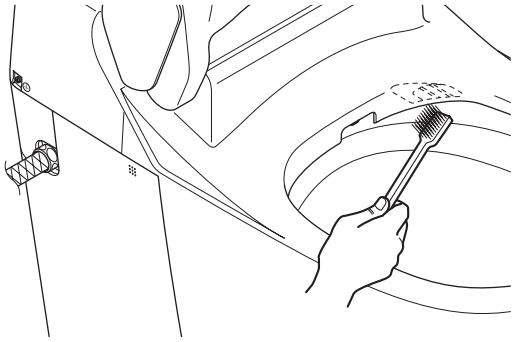
※矢印を上にして挿入してください。





脱臭吸込口・漏電しゃ断器（プラグ付）

脱臭吸込口



- 脱臭吸込口がつまると適正な性能が得られなくなります。
  効果が弱くなったり、脱臭音が大きくなったときは脱臭吸込口のお手入れをしてください。
- 乾いた歯ブラシなどで綿ボコリやペーパークズなどを取り除いてください。

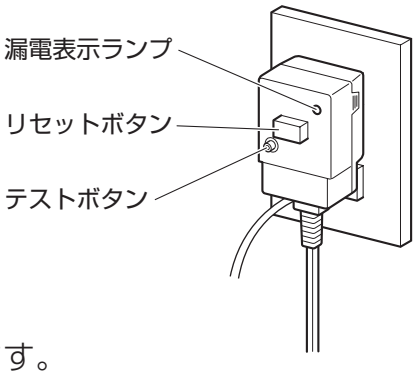
漏電しゃ断器（プラグ付）

- 乾いた布で漏電しゃ断器（プラグ付）についたほこりを取り除いてください。

定期点検

漏電しゃ断器（プラグ付）の点検

- 1か月に1〜2回お客さまご自身で行ってください。
- そのままにしておくと、感電の原因になります。



step 1 テストボタンを押す

正常なときは、漏電表示ランプが点灯します。

step 2 リセットボタンを強く押す

- 正常なときは、漏電表示ランプが消灯します。
- 本体の電源ランプが約10秒間点滅した後点灯に変わります。

逆流防止装置の定期的な点検のお願い（有料）

逆流防止装置（逆流防止弁、バキュームブレーカー）は、5年を目安に定期点検を受けていただくことをおすすめします。
なお、点検は、お客様相談窓口（裏表紙ご参照）にお問い合わせください。

トラブルの予防と対処方法

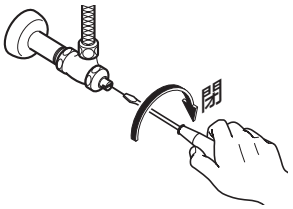
凍結防止についてのお願い

凍結すると給水ホースや本体が破損し、水漏れをおこすことがあります。
凍結のおそれのある場合は、電源ランプが点灯、8時間切ランプが消灯していることを確認し、便座および温水温度設定を「高め」にし、暖房器具でトイレ内を暖房してください。
（設定方法は14、15ページをご覧ください。）
また、止水栓・給水ホースに断熱材を巻いたり、屋外配管・露出配管については、凍結防止ヒーターを取り付けるなどの凍結予防対策を施工業者に依頼してください。

◎寒冷地仕様の場合　※商品品番末尾に「7」がついています。

給水ホースの水抜きをし、便器の凍結防止ヒーターで便器の溜め水を保温します。
給水配管に水抜き栓がある場合は、その水抜き栓を開いてください。

step 1　止水栓を閉める

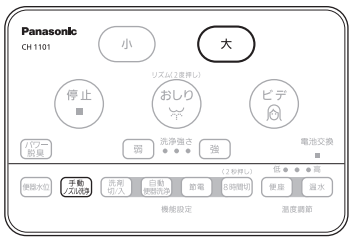


step 2

① リモコンの（手動 ノズル洗浄）を押す。

② リモコンの（大）または本体操作部の 大洗浄 を押す。

数秒後にブザー音が「ピピピッピピピッ」と鳴ります。



本体操作部

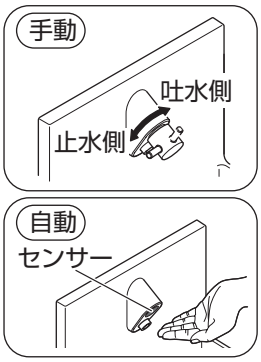
③ 手洗器付きタイプの場合

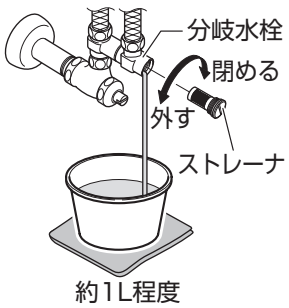
■手動単水栓

①ハンドルを吐水側にまわす。
②ストレーナを外し、配管内の水を抜く。
③ストレーナを元に戻し、ハンドルを止水側にまわす。

■自動単水栓

①ストレーナを外し、配管内の水を抜く。
②センサー部に手をかざす。
③ストレーナを元に戻す。
※自動単水栓は、室温が2 ℃以下の場合、凍結防止のため、1時間毎に約5秒間自動的に吐水を行います。





step 3　給水配管の水抜きが終わったら、凍結防止ヒータープラグを差し込む

✳凍結防止ヒーターについて

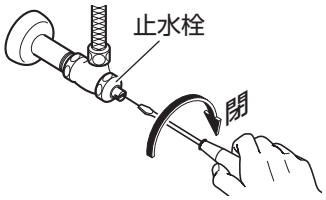
便器の凍結防止ヒーターの凍結防止限界温度は、−15 ℃です。トイレルーム内の温度が−15 ℃以下になる場合は、暖房器具などで、トイレルーム内を−15 ℃以上に保ってください。
※凍結のおそれのない場合は、凍結防止ヒータープラグを抜いてください。

⚠注意

禁止	**凍結防止ヒーターを使用する場合は8時間切スイッチは使用しない** 便ふた部の結露で床をぬらす原因となります。	必ず守る	**凍結するおそれのある場合は、必ず水抜きする** 凍結すると配管、本体内部が破損して水漏れの原因になります。
	暖房器具を便器に近づけない 便器の変形・破損による、けがや水漏れの原因となります。特にハロゲンヒータータイプの暖房器具は、便器から1 m以上離してご使用ください。		

ストレーナ(ごみ取りフィルター)の掃除

• ストレーナに水アカやごみなどがつまると適正な性能が得られなくなります。
洗浄水の出が悪くなったり、便器洗浄面の溜め水が少ないときは、
ストレーナの掃除をしてください。

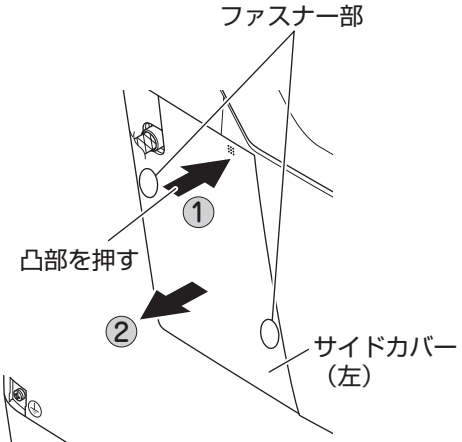


step 1 止水栓を閉める

step 2 サイドカバー(左)を外す

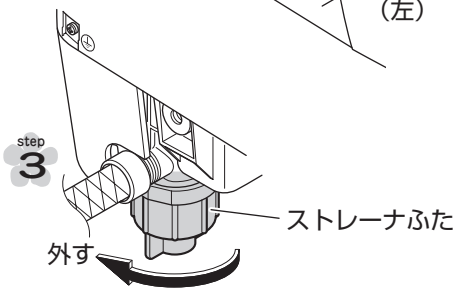
① サイドカバー(左)の凸部を押す。

② すき間から指を入れ、水平方向に引き出す。
(ファスナー部2か所を引きはがす。)

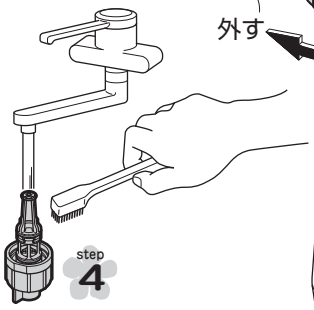


step 3 ストレーナふたを外す

※ストレーナふたの取り外しの際に指のはさみこみにご注意ください。
※取り外す時は、約50 cc程度水が出ますので、ぞうきんなどをご準備ください。

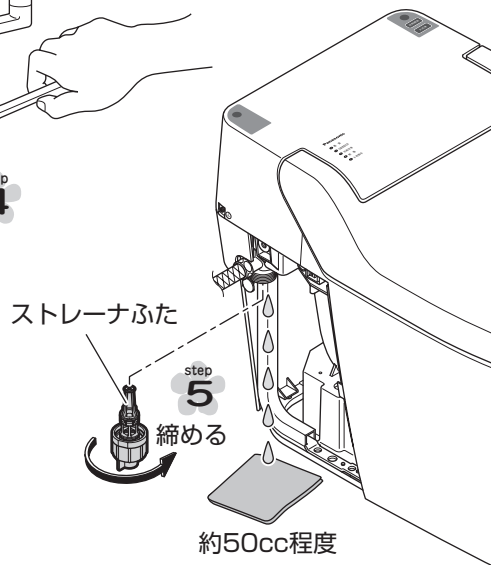


step 4 ストレーナを取り出しブラシなどを使いきれいに水洗いする



step 5 ストレーナふたを元通りに「カチッ」と鳴るまで締めつける

ストレーナふたの締めつけの際に指のはさみこみにご注意ください。



⚠注意

必ず守る

ストレーナふたはしっかりと締めつける
締めつけないと水漏れの原因となります。

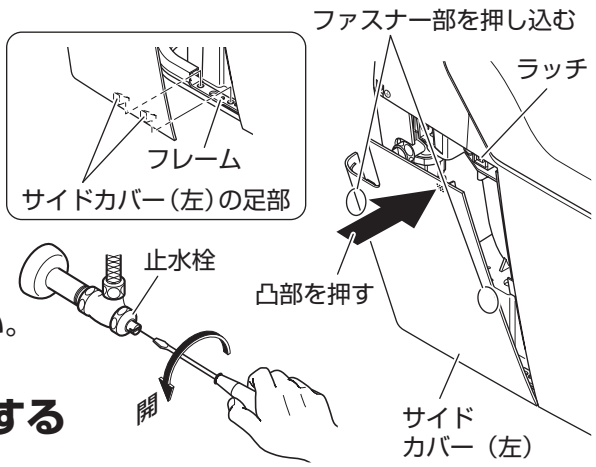
step 6 サイドカバー(左)を元通り取り付ける

① サイドカバーの足部をフレームの穴にあわせておく。

② サイドカバーの凸部をラッチに合わせて押す。※(カチッと鳴ります。)

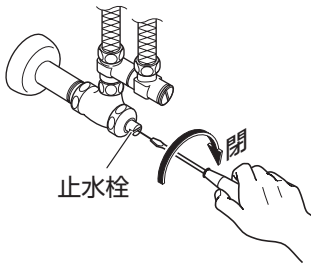
③ ファスナー部(2か所)を押し込む。

※ 引っかかったまま無理に押し広げないでください。ラッチ部が破損する場合があります。



step 7 止水栓を開け水漏れがないことを確認する

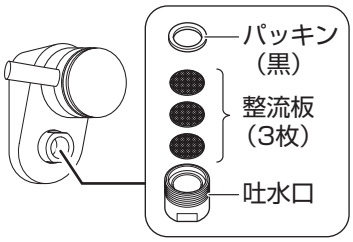
手洗器の掃除（手洗器付タイプの場合）



• 水の出が悪い場合は、吐水口とストレーナの掃除をしてください。

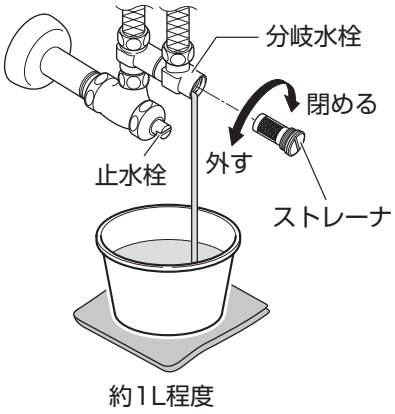
◎吐水口の掃除

①止水栓を閉める。
②吐水口を外す。
※排水口に落とさないようにご注意ください。
③歯ブラシなどを用いて、ごみを取りのぞく。
④吐水口を元に戻す。
⑤止水栓を開け、水漏れがないことを確認する。



◎ストレーナ（ごみ取りフィルター）の掃除

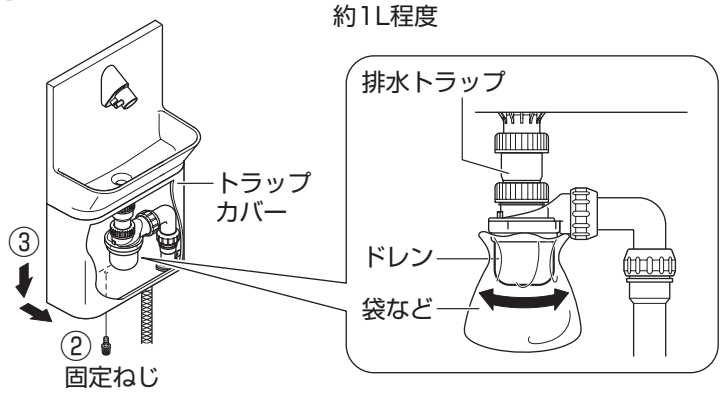
①止水栓を閉める。
②分岐水栓のストレーナを取り出し、水洗いする。
③ストレーナを元に戻す。
④止水栓を開け、水漏れがないことを確認する。



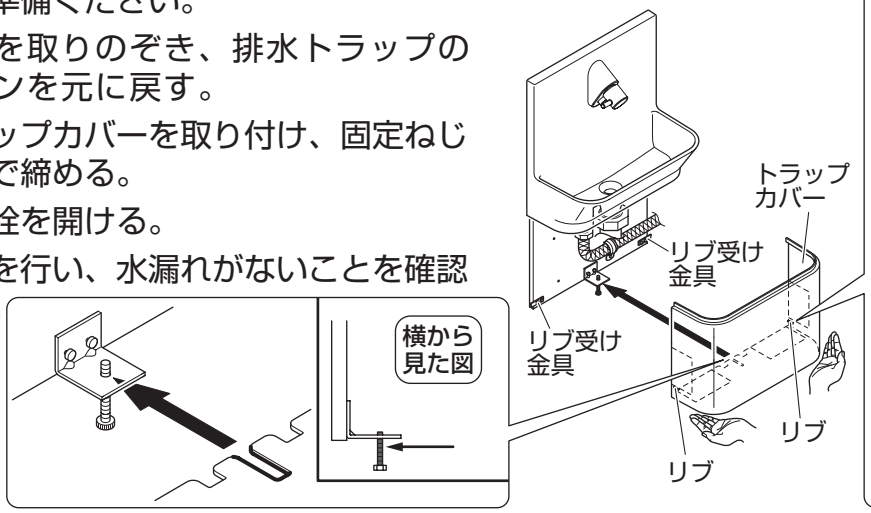
• 排水が悪い場合は、排水トラップの掃除をしてください。

◎排水トラップの掃除

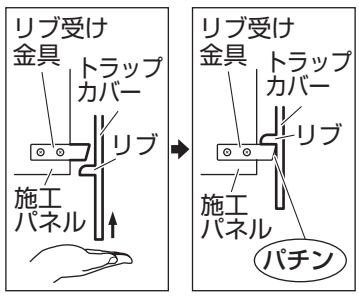
①止水栓を閉める。
②トラップカバー下部の固定ねじを手でゆるめる。
③トラップカバーを下にスライドさせて手前に引き出す。
④排水トラップのドレンを取り外す。
トラップ内の水が出ますので、袋などをご準備ください。
⑤ごみを取りのぞき、排水トラップのドレンを元に戻す。
⑥トラップカバーを取り付け、固定ねじを手で締める。
⑦止水栓を開ける。
⑧吐水を行い、水漏れがないことを確認する。



• トラップカバーの取り付け



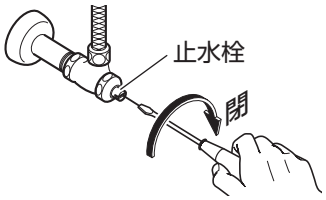
トラップカバーを図のように取り付け、固定ねじで固定してください。
トラップカバーの下部左右を「パチン」と音がするまで（裏側のリブが、リブ受け金具の上に乗るまで）下から手で持ち上げてください。



長期間使用しない場合

長期間（7日以上）使用しないときは、事前に洗剤タンクの水洗いと本体内水循環をしてください。（25ページ）
次に本体の水を抜き、漏電しゃ断器（プラグ付）とリモコンの電池を抜いてください。
※一般地仕様の止水栓および便器本体内の水抜き方法については下記をご覧ください。

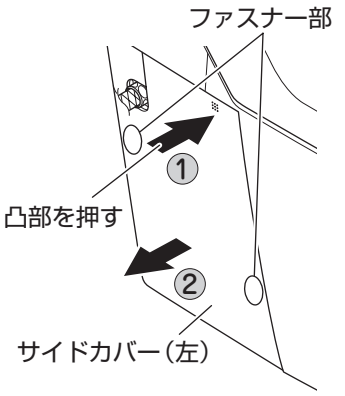
step 1 止水栓を閉める



step 2 サイドカバー（左）を外す

① サイドカバー（左）の凸部を押す。

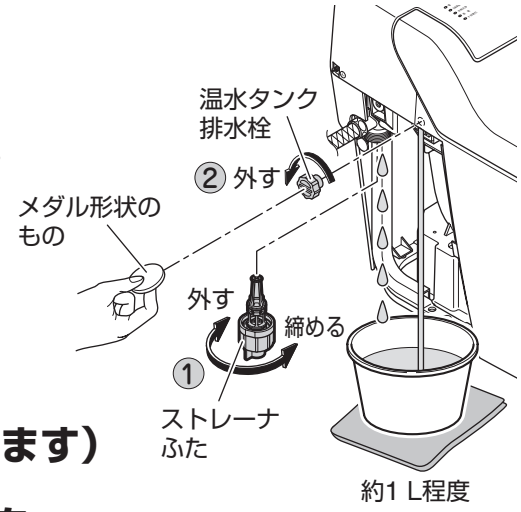
② すき間から指を入れ、水平方向に引き出す。
（ファスナー部2か所を引きはがす。）



step 3 水抜きをする

① ストレーナふたを外す。

② 温水タンク排水栓をメダル形状のもので外す。
※取り外す時は、約1 L程度水が出ますので、
バケツなどをご準備ください。



step 4 リモコンの 大 または本体操作部の 大洗浄 を押し、本体内部の水を抜く（ブザー音が「ピピピッピピピッ」と鳴ります）

step 5 ストレーナふたおよび温水タンク排水栓を取り付ける

step 6 サイドカバー（左）を元通り取り付ける

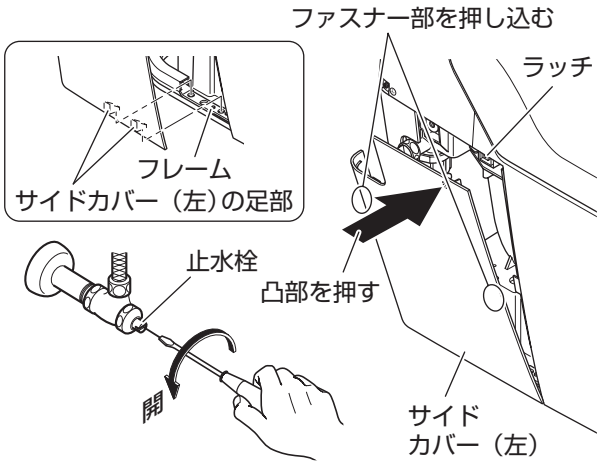
① サイドカバーの足部をフレームの穴にあわせる。

② サイドカバーの凸部をラッチに合わせて押す。※（カチッと鳴ります。）

③ ファスナー部（2か所）を押し込む。

※引っかかったまま無理に押し広げないでください。
ラッチ部が破損する場合があります。

※再び使用するときは、止水栓を開き、
11ページの手順にしたがって
温水タンクに給水してください。



⚠注意

必ず守る

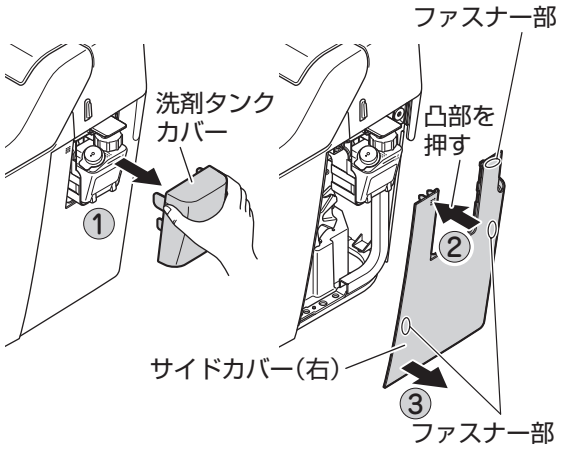
ストレーナふたおよび温水タンク排水栓はしっかりと締めつける
しっかりと締めつけないと水漏れの原因となります。

停電時または断水時の便器洗浄のしかた

step 1 漏電しゃ断器(プラグ付)を抜く

(漏電しゃ断器(プラグ付)は必ず抜いて作業してください。)

step 2 洗剤タンクカバーおよびサイドカバー(右)を外す



① 洗剤タンクカバーを外す。

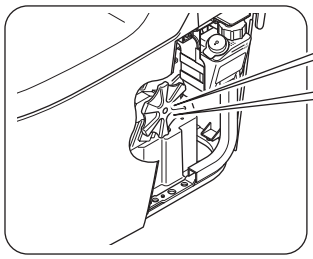
② サイドカバー(右)の凸部を押す。

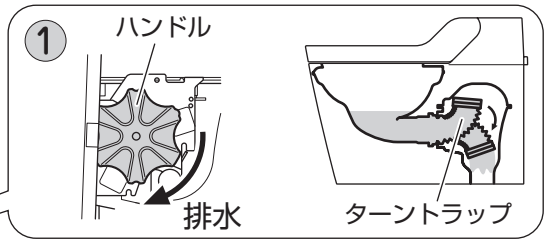
③ すき間から指を入れ、水平方向に引き出す。(ファスナー部3か所を引きはがす。)

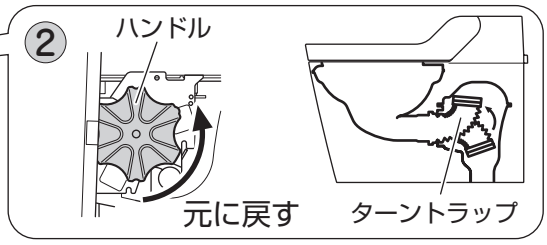
step 3 点検口内の停電用ハンドルを回し排水する

(ハンドルを回しすぎると破損のおそれがあります。)

① ハンドルを回し排水する。
(床排水:約120°、壁排水:約80°)
(ターントラップが下を向き排水します。)







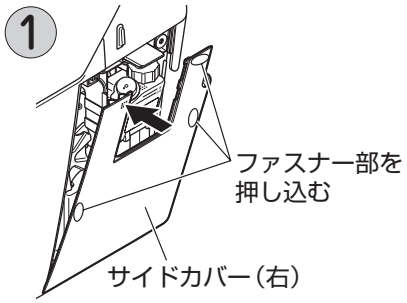
② ハンドルを元の位置に戻す。(床排水:約120°、壁排水:約80°)
(ターントラップが元に戻ります。)

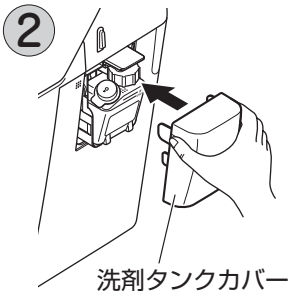
step 4 便器洗浄面にバケツで水(約4 L)を溜める

※下水管からの悪臭を防ぐため、必ず便器に約4 Lの水を入れてください。
万が一、汚物が戻ってきた場合は、再度step**3**から操作してくだい。

step 5 停電、断水が復帰したら、サイドカバー(右)および洗剤タンクカバーを取り付ける

※サイドカバー(右)の取り付けかたは
26ページ step**5**をご覧ください。





step 6 漏電しゃ断器(プラグ付)をコンセントに差し込み、本体操作部の 大洗浄 またはリモコンの (大) を押して、便器洗浄面への給水を行う

(通常の使用状態に戻ります。)
※コンセントに差し込んだ直後約10秒間は、全ての操作を受け付けません。

便器が詰まった場合

⚠注意

禁止

便器が詰まった場合は、続けて洗浄操作しない
便器から汚水があふれる原因となります。

step 1 漏電しゃ断器(プラグ付)を抜く

(漏電しゃ断器(プラグ付)は必ず抜いて作業してください。)

step 2 洗剤タンクカバーおよびサイドカバー(右)を外す

※外しかたは32ページ step**2**をご覧ください。

1. 洗剤タンクカバーを外す。
2. サイドカバー(右)の凸部を押す。
3. すき間から指を入れ、水平方向に引き出す。(ファスナー部3か所を引きはがす。)

step 3 点検口内の停電用ハンドルを回し排水する

※排水のしかたは32ページ step**3**をご覧ください。

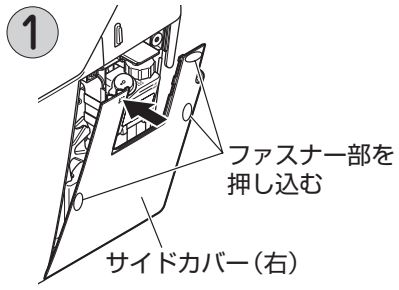
ハンドルを回し排水する。(床排水:約120°、壁排水:約80°)

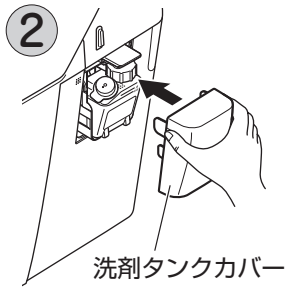
step 4 市販のラバーカップを使用し、詰まりを取り除く

- 排水口をふさいで押したり引いたりする。
(汚水が飛散する事がありますので、ビニールシートなどでカバーする事をおすすめします。)
- ラバーカップはホームセンター、スーパー、金物店などで販売されています。便器が詰まった時のために、常備していただくことをおすすめします。
- ラバーカップが使用できるのは、汚物やトイレットペーパーが詰まった時です。それ以外の物(ボールペン、生理用品などの固形の異物)が詰まった場合は、取れませんので、お近くの工事店にご相談ください。

step 5 詰まりが解消したら、サイドカバー(右)および洗剤タンクカバーを取り付ける

※サイドカバー(右)の取り付けかたは24ページ step**5**をご覧ください。

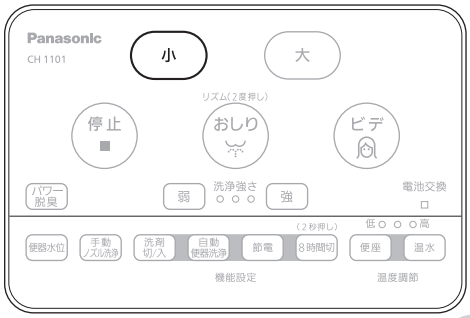




step 6 漏電しゃ断器(プラグ付)をコンセントに差し込み、リモコンの 小 を押して、便器洗浄面への給水を行う

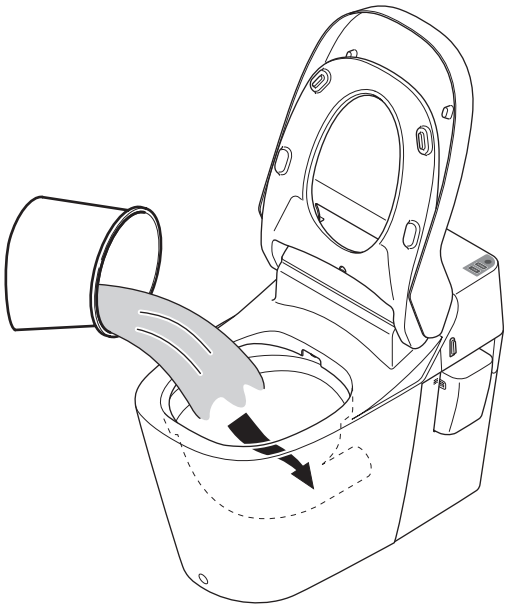
※十分に詰まりが解消していない場合、リモコンの 大 を押すと、便器から水があふれるおそれがあります。
(通常の使用状態に戻ります。)

※コンセントに差し込んだ直後約10秒間は、全ての操作を受け付けません。

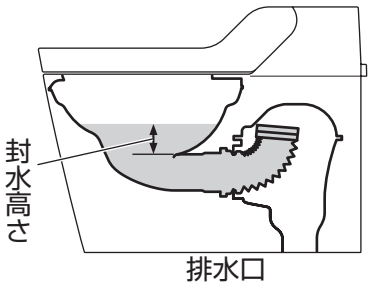


便器洗浄中に停電が起こった場合

万一、便器洗浄中に停電などが起こった場合、
バケツなどで、便器洗浄面に約4 Lの水を入れて封水してください。



✳封水について



☆封水高さは、下水管からの有害ガス、悪臭、害虫の侵入を防ぐために必ず50 mm以上確保してください。

万一のトラブルなどにより封水が確保できない場合

下記のいずれかの方法により封水を確保してください。

- 本体操作部の 大洗浄 または、リモコンの 大 を押す。

ⓐ 漏電しゃ断器（プラグ付）を一度コンセントから抜いてから約10秒後に再びコンセントに差し込む。

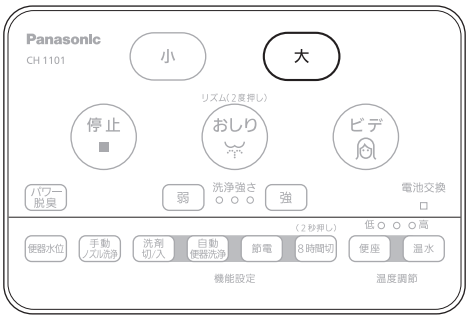
ⓑ ストレーナの掃除（29ページ参照）を行う。

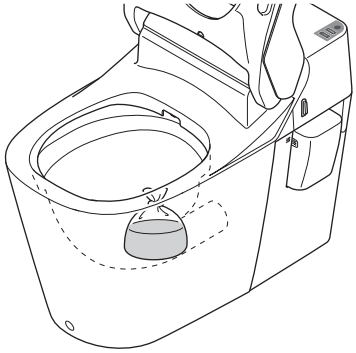
↓

本体操作部の 大洗浄 または、リモコンの 大 を押す。

※それでも封水が確保できない場合はビニール袋（幅15～20 cm）に水を入れて排水口をふさいで、お客様相談窓口（裏表紙ご参照）にご連絡ください。

本体操作部





故障かな?

● 修理を依頼される前に下記をお読みください。

〈便器〉

症　　状	原　　因	対 処 方 法
本体の電源が入らない。	●漏電しゃ断器（プラグ付）のリセットボタンを押していない。	●漏電しゃ断器（プラグ付）のリセットボタンを強く押してください。（27ページ参照）
本体表示の電源ランプが点滅している。	●温水洗浄便座の温水タンクが満水になっていない。	●温水タンクへの給水を行ってください。（11ページ参照）
本体から「ピピピッピピピッ」とブザー音が鳴り、便器洗浄ができなくなった。（本体表示部の洗剤洗浄ランプが点滅している。）	●止水栓が閉じている。 ●断水中。 ●ストレーナがつまっている。 ●使用水道圧（動水圧）が低い。	●止水栓を開いてください。 ●「停電時または断水時の便器洗浄のしかた」を行ってください。（32ページ参照） ●ストレーナの掃除をしてください。（29ページ参照） ●適正な水圧（動水圧）が確保されているかを確認してください。（販売店・施工業者へお問い合せください。）
便器洗浄水の勢いが弱い。 便器洗浄水がスパイラル水流にならない。	●止水栓の絞りすぎ。 ●ストレーナがつまっている。 ●使用水道圧（動水圧）が低い。 ●手洗いを使用している。（手洗器付の場合）	●止水栓を開いてください。 ●ストレーナの掃除をしてください。（29ページ参照） ●適正な水圧（動水圧）が確保されているかを確認してください。（販売店・施工業者へお問い合せください。） ●便器洗浄後に手を洗ってください。
便器の洗浄水が止まらない。	●給水弁の故障。	●至急止水栓を閉じて販売店・施工業者へお問い合わせください。
便器洗浄面の溜め水が少ない。	●止水栓の絞りすぎ。 ●ストレーナがつまっている。	●止水栓を開いてください。 ●ストレーナの掃除をしてください。（29ページ参照）
自動便器洗浄ができない。	●設定をしていない。（本体表示部の「自動便器洗浄ランプ」が消えている。） ●10秒以上座っていない。	●自動便器洗浄スイッチを押し、設定してください。 ●10秒以上着座してください。
洗剤の泡が出ない。	●洗剤投入パターンが切になっている。（本体表示部の「洗剤洗浄ランプ」が消えている。） ●洗剤タンクに洗剤が入っていない。 ●長期間使用していない。	●洗剤切/入を「入」にしてください。（13ページ参照） ●洗剤タンクに洗剤を入れてください。（18ページ参照） ●本体操作部の洗剤開始を押してください。（18ページ参照）
小洗浄の時に泡が出ない。	●洗剤投入パターンが切または大洗浄時のみ洗剤を入れる設定になっている。（自動便器洗浄設定時は着座時間が50秒以下の場合、小洗浄となります。）	●洗剤投入パターンを大小洗浄時入れる設定にしてください。（15ページ参照）
洗剤を入れない設定で洗剤の泡が出る。	●洗剤洗浄直後の洗剤なし洗浄、室温が高い、長期間使用していない。	●使用環境や条件によるもので故障ではありません。
洗浄後に便器から「ピタ」、「ピチャ」という音がする。	●洗浄後ターントラップからあふれる水の音。	●洗浄後の便器の封水を確保するもので、故障ではありません。
勝手に便器の水が流れる。	●24時間以上便器の洗浄をしていない。	●自動お掃除機能によるもので故障ではありません。（13ページ参照）
傷がついた。	●固い物やとがった物などを便器に落とした、ぶつけた。	●細かな傷であれば歯磨き粉や市販のアクリル用コンパウンドでの補修が可能です。（ただし深い傷の場合は補修できません。）

〈温水洗浄便座〉

症　　状	原　　因	対 処 方 法
おしり・ビデの洗浄水が出ない。	●洗浄便座内部の凍結、給水ホースの凍結。	●トイレルーム内を暖房する。(2時間位) そのまま運転を続けると故障する場合があります。
	●連続使用(2分以上)により、タイマーが働いてストップした。	●再度 おしり または、ビデ を押してください。
	●止水栓が閉まっている。	●止水栓を開いてください。
	●ストレーナがつまっている。	●ストレーナの掃除をしてください。 (29ページ参照)
	●衣服などでリモコン受信部がおおわれている。	●衣類などを取り除いてください。
	●リモコン受信部(本体側)、リモコン発信部が汚れている。	●リモコン受信部(本体側)・リモコン発信部を柔らかいきれいな布で拭いてください。
	●温水タンクに給水されていない。	●初期給水を行ってください。 (11ページ参照)
	●着座中に着座センサーがOFFした。 (一度着座センサーがOFFすると水熱切替モータがリセットするため、しばらく水が出ません。)	●水熱切替モータのリセット完了後、 再度 おしり または、ビデ を押してください。
おしり・ビデの洗浄水勢が弱い。	●水道水圧が低い。	●洗浄強さ「強」で使用してください。 適正な水圧(動水圧)が確保されているかを確認してください。 (販売店・施工業者へお問い合せください。)
	●止水栓の絞りすぎ。	●止水栓を開いてください。
	●ストレーナがつまっている。	●ストレーナを掃除してください。 (29ページ参照)
	●洗浄ノズルがつまっている。	●洗浄ノズルを掃除してください。 (26ページ参照)
おしり・ビデの洗浄水が暖かくない。	●温水温度調節が「切」または「低め」になっている。	●好みの温度に調節してください。
	●節電運転になっている。	●着座すると、元の設定温度に戻ります。 (16ページ参照)
	●8時間切設定になっている。 (本体表示部の「8時間切」ランプが点灯している。)	● 8時間切 を2秒間押してください。
暖房便座が暖かくない。	●便座温度調節が「切」または「低め」になっている。	●好みの温度に調節する。 約12分で設定温度になります。
	●節電運転になっている。	●着座すると、元の設定温度に戻ります。 (16ページ参照)
	●8時間切設定になっている。 (本体表示部の「8時間切」ランプが点灯している。)	● 8時間切 を2秒間押してください。
脱臭が作動しない。	●脱臭設定していない。	● 強 と パワー脱臭 を同時に2秒間押してください。
脱臭が効かなくなった。 脱臭がうるさくなった。	●ほこりなどで目づまりしている。	●脱臭フィルターを掃除してください。 (26ページ参照) ●脱臭吸込口を掃除してください。 (26ページ参照)

症　　状	原　　因	対 処 方 法
給水音が大きい。	●使用水道圧が高い。	●止水栓を絞ってください。
リモコンが作動しない。	●リモコン受信部が衣服などでふさがれている。 ●リモコンの電池切れ。 ●電池の⊕⊖が逆になっている。 ●リモコンが本体から遠くに取り付いている。 ●リモコン受信部（本体側）・リモコン発信部に直射日光が当たっている。 ●リモコン受信部（本体側）・リモコン発信部の上方に棚などの障害物がある。 ●リモコン受信部（本体側）・リモコン発信部が汚れている。	●衣服などを取り除いてください。 ●新しい電池に交換してください。 ●正しく入れてください。 ●リモコンの取付位置を変更してください。 ●カーテンなどで直射日光が当たらないようにしてください。 ●障害物を取り除いてください。 ●リモコン受信部（本体側）・リモコン発信部を柔らかいきれいな布で拭いてください。
便ふたの裏が結露している。	●凍結防止ヒーターが作動している。（寒冷地仕様のみ） ●換気状態および、水温や気温の条件により発生することがあります。	以下の処置を順番に行ってください。 ●8時間切タイマーがはたらいている場合 8時間切 スイッチを押して、「切」にしてください。（17ページ参照） ●便座温度設定を「切」以外にし、換気に配慮してください。 ●便ふたを常に開いた状態にしてください。

〈手洗器〉

症　　状	原　　因	対 処 方 法
水が出ない。	●止水栓が閉じている。 ●電源プラグが抜けている。（自動単水栓のみ） ●手の差し出し位置がセンサー検知範囲から外れている。（自動単水栓のみ）	●止水栓を開いてください。 ●電源プラグを差し込んでください。 ●センサー検知範囲に手を差し出してください。（11ページ参照）
水の出が悪い。	●止水栓の絞りすぎ。 ●ストレーナがつまっている。 ●吐水口がつまっている。 ●使用水道圧（動水圧）が低い。 ●便器洗浄中。	●止水栓を開いてください。 ●ストレーナの掃除をしてください。（29ページ参照） ●整流板の掃除をしてください。（30ページ参照） ●適正な水圧（動水圧）が確保されているかを確認してください。（販売店・施工業者へお問い合せください。） ●便器洗浄後に手を洗ってください。
水が止まらない。	●障害物を感知している。（自動単水栓のみ）	●障害物を取りのぞいてください。
水が勝手に出る。	●自動吐水機能が働いている。（自動単水栓のみ、室温が低い場合） ●温度検知センサーの誤作動。（自動単水栓のみ、室温が高い場合）	●凍結防止機能によるもので、故障ではありません。（28ページ参照） ●電源プラグを抜いて再度差し込んでください。

定格・仕様

〈便器部〉

品番			床排水	床排水高層階	壁排水
			CH1101□□(7)	CH1101H□□	CH1101P□□
電源			AC100 V　50/60 Hz		
最大消費電力			565 W(寒冷地は、588 W) 待機時消費電力 1.7 W		
区分			貯湯式 ※4		
年間消費電力量			171 (233) kWh/年 ※1		
電源コード長さ			1.0 m		
洗浄装置	温水タンク		貯湯式　0.88 L		
	温水温度		4段階調節(水温～約40 ℃)		
	吐出量	おしり	3段階調節(0.5 L～0.9 L/分) リズム洗浄時(最大0.8 L/分)		
		ビデ	3段階調節(0.5 L～1.0 L/分)		
	シャワー方式	おしり	水圧伸縮式　気泡入りスウィングシャワー		
		ビデ	水圧伸縮式　9穴ソフトシャワー		
	温水ヒーター		500 W		
	保護装置		サーモスイッチ、温度ヒューズ、フロートスイッチ、凍結防止(水温約10℃以下で作動)		
脱臭	方法		触媒脱臭		
	風量		0.1 m^3/分(パワー脱臭0.15 m^3/分)		
	消費電力		1.6 W(パワー脱臭2.4 W)		
暖房便座	表面温度		4段階調節(室温～約40 ℃)		
	便座ヒーター		53 W		
	保護装置		温度ヒューズ		
	閉止機構		バタンレス機構		
	便座サイズ		エロンゲート(大型)		
便器	洗浄方式		ターントラップ式		
	洗浄水量		大　約5.7 L 、小　約4 L ※2		大　約5.7 L、小　約4.5 L ※2
	消費電力		12 W		
	凍結防止ヒーター		AC100 V　50/60 Hz　23 W(電源コード有効長　約1.0 m) [寒冷地仕様のみ]		
	保護装置		バイメタルスイッチ、温度ヒューズ [寒冷地仕様のみ]		
リモコン			ワイヤレスリモコン(単3形乾電池3 個)		
使用水道圧範囲			0.069 MPa(16 L/分 動水圧)～0.735 MPa(静水圧) {0.7 kgf/cm^2～7.5 kgf/cm^2} ※3		
保護装置			漏電しゃ断器、着座スイッチ、逆流防止装置		
給水温度範囲			0～35 ℃		
使用周囲温度範囲			0～40 ℃		
寸法　巾x奥行x高さ			396 mm×700 mm×530 mm		
製品質量			17 kg		

※1 年間消費電力量は4人家族(男性2人、女性2人)で使用の場合。[室温：5℃(冬季)・15℃(春秋季)・28℃(夏季)、水温：15℃] おしり洗浄使用1日4回、ビデ洗浄使用1日8回、男性小用1日4回で省エネ法(2012年度基準)の測定方法に準拠し、標準品を測定して計算しました。(　) 内は8時間切設定による節電をしない場合の年間消費電力量です。
※2 水圧0.1 MPa時(流動時)
※3 水道圧が0.098 MPa(動水圧)以下では、おしり・ビデ洗浄の洗浄水量が少なくなる場合があります。
※4 省エネ法(2012年度基準)の区分

〈手洗器〉

	自動単水栓	手動単水栓
電源	AC100 V　50/60 Hz	――
最大消費電力	6 W(寒冷地は9 W)	
センサー方式	赤外線反射方式	
電源コード長さ	40 cm	
連続吐水時間	3 分間	
使用水道圧範囲	0.098 MPa(19 L/分 動水圧)～0.735 MPa(静水圧) {1.0 kgf/cm^2～7.5 kgf/cm^2}	
最大吐水量	約3 L/分	

お知らせ

重大事故防止のためのお願い

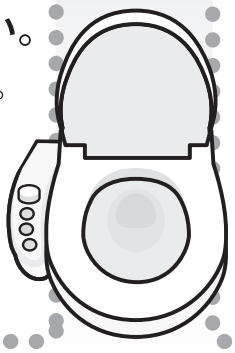
温水洗浄便座は電気製品です

～多くのお客さまが電気製品としての取り扱い、寿命を意識されていません～

故障したままのご使用や長年のご使用は、電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります

故障したままで使わないでください。

火災や感電、室内浸水の原因になります。
異常に気づいたら、**すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止**し、販売店またはメーカーへご連絡ください。



定期的な点検をおすすめします。

安心してご使用いただくため、**定期的な点検**をおすすめします。
また、**長期間（10年以上）ご使用の温水洗浄便座は買い替え**をご検討ください。
使い勝手、機能性、省エネ性能も向上しています。販売店またはメーカーにご連絡ください。

安全にご使用いただくために

日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- 便座や本体に小水や洗剤をかけないでください。故障や火災の原因になります。
- 酸性やアルカリ性の洗剤を使わないでください。内部の電気部品や金属を腐食させます。
- 電源プラグのほこりは取り除いてください。トラッキング※現象で火災の原因になります。

※トラッキングとは･･･電源プラグにたまったほこりと湿気により微小電流が流れ、火花が発生する。火花によりほこりが燃えて炭化するとトラック（電気の道）ができる。トラックのできた電源プラグを使用し続けると、やがて大量の電流が流れるようになりショートし、発火する。

一般社団法人 **温水洗浄便座工業会** http://www.sanitary-net.com 後援 **経済産業省**

製品の長期使用に関する本体表示について

1 本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがある事を注意喚起するために、以下の内容の表示を本体に行っています。

- ●製造年（便ふたの裏面に西暦４桁で表示しています。）
- ●注意表記（下記の表記を便ふたの裏面に表示しています。）

⚠ 【想定安全使用期間】10年（一般家庭用に設置された場合）
想定安全使用期間をこえてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

2 想定安全使用期間とは

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で、適正な取り扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として、想定される期間です。無償保証期間とは異なります。
また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

※一般家庭用以外（事務所、病院等、不特定多数の方が使用される場所）に設置された場合は、使用条件により、想定安全使用期間よりも早い時期に劣化するおそれがあります。

3 標準的な使用条件

環境条件	電圧・周波数	AC100 V 50/60 Hz	機器の定格電圧/周波数による
	温度	20 ℃	JIS A4422 による
	給水温度・給水圧	15 ℃　0.2 MPa	JIS A4422 による
付加条件	定格負荷	製品仕様による標準設置状態	JIS A4422 による
想定条件	4人家族（男性2人、女性2人）において、大便：1回/日・人、小便男性：4回/日・人、小便女性：4回/日・人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ15秒間とする。		JIS A4422 による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

4 経年劣化とは

長期間にわたる使用や処置に伴い生じる劣化をいいます。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などのご相談は

■まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

●お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名	
電話	
お引き渡し日	年　月　日

■保証書（別添付）

お引き渡し日・販売店名などの記入を確かめ、お買い上げの販売店からお受け取り、保管してください。

保証期間：お引き渡し日から本体２年間
（但し、電気部品は１年間）

■補修用性能部品の保有期間　7年

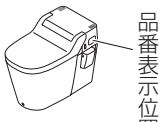
当社は、本製品の機能を維持するために必要な部品を、製造打ち切り後７年保有しています。

修理を依頼されるとき

■まず、使用機器の電気・水道などの元を断ち、お買い上げの販売店へご連絡ください。

■ご連絡いただきたい内容

①品名
②品番
③お引き渡し日
④異常の状況 （できるだけ具体的に）



●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

●修理料金は次の内容で構成されています。
【技術料】診断・修理・調整・点検などの費用です。
【部品代】修理に使用した部品および補助材料代です。
【出張料】お客様のご依頼により技術者を派遣する費用です。

※この商品は日本国内専用品ですので、日本国外で使用しないでください。万一、日本国外で使用された場合は、修理サービスはお受けになれません。

商品の情報はホームページでご確認ください。 パナソニック 検索 http://panasonic.co.jp/

■転居などでお困りの場合は、以下のお客様相談窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

消耗品・交換部品・後付パーツのご用命は

ハイ・パーツショップサイト ハイ・パーツショップ 検索 http://www.sumu2.com/shop/parts/

ハイ・パーツショップ 一般のお客様用

フリーダイヤル 0120-055-802（ゴーゴー バーツ）

※携帯電話・PHS からもご利用になれます。

【受付時間】月～金　/9:00～19:00
土・日・祝日 /9:00～17:00

※GW休暇・夏季休業・年末年始はお休みまたは受付時間を変更させていただく場合があります。
※ビジネスのお客様はお取引先の販売ルートへお問い合わせください。

●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6906-1224

修理のご用命は

パナソニック エコソリューションズ **修理サービスサイト** http://sumai.panasonic.jp/support/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック エコソリューションズ **修理ご相談窓口**

フリーダイヤル 0120-872-150（バナニ イコー）

※携帯電話・PHS からもご利用になれます。

【受付時間】365 日 /9:00～20:00

●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6906-1090

商品のお問い合わせは

パナソニック **総合お客様サポートサイト** http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック **お客様ご相談センター**

フリーダイヤル 0120-878-365（バナハ 365日）

※携帯電話・PHS からもご利用になれます。

【受付時間】365日 /9:00～20:00

●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6907-1187

●FAX ……フリーダイヤル 0120-878-236

音声ガイダンスを短くするには	案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「670#」を押してください。（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

※所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検　長年ご使用の温水洗浄一体型便器の点検を！

こんな症状はありませんか？

●電源コードを動かしたときに電気が入ったり、切れたりしませんか。
●本体・プラグ・電源コードや便座コードがさわれないほど熱くなっていませんか。
●コードにキズはありませんか。
●異常な臭い（焦げるような）や音が出ていませんか。
●触ると電気（ビリビリ）を感じることはありませんか。
●プラグ刃のがたつきがありませんか。

▶ このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、コンセントから漏電しゃ断器のプラグを抜いて、必ず販売店に点検を依頼してください。

パナソニック株式会社　水廻りシステムビジネスユニット
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Corporation 2014